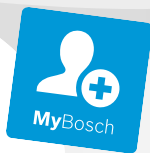




BOSCH

Register your
new device on
MyBosch now and
get free benefits:
**[bosch-home.com/
welcome](https://bosch-home.com/welcome)**



ディッシュウォッシャー

SPI6ZDS006

[ja] ユーザーマニュアル

目次

安全性	4	カトラリートレイ	25
一般的注意事項	4	壁棚	26
目的の用途	4	折りたたみ式仕切り棒	26
ユーザーグループの制限	4	食器バスケット高さ	27
安全な設置	4		
安全な使用	6	初めてご使用になる前に	27
装置の損傷	8	初回運転開始を実施する	27
お子様にとっての危険	9		
セーフティシステム	10	軟水化装置	27
		水硬度設定の概要	28
物的損傷の回避	11	軟水化装置を設定する	28
安全な設置	11	特殊塩	28
安全な使用	11	軟水化装置のスイッチをオフにする	29
チャイルドロック	12	リンス剤装置	29
ドアロック	12	リンス剤	29
環境保護と資源の節約	12	リンス剤使用量を設定する	30
梱包の廃棄処分	12	リンス剤装置のスイッチをオフにする	30
省エネ	13		
ゼオライトの乾燥②	13	洗浄剤	31
アクアセンサー	13	適切な洗浄剤	31
センサー	13	不適切な洗浄剤	32
据付けと接続	14	洗浄剤に関する注意事項	32
納品物一式	14	洗浄剤を充填する	32
装置の据付けと接続	14		
排水接続	15	食器	33
飲料水接続	15	グラスおよび食器の損傷	34
電気接続	15	食器を収納する	34
		食器を取り出す	35
よく知る	16		
装置	16	基本操作	35
操作部	17	装置のドアを開く	35
プログラム	20	装置のスイッチをオンにする	35
テスト機関のための注意事項	22	プログラムを設定する	36
		追加機能を設定する	36
追加機能	22	時間事前選択を設定する	36
		プログラムをスタートする	36
装備	23	ボタンロックを有効にする	36
上段食器バスケット	23	ボタンロックを無効にする	36
下段食器バスケット	24	プログラムを中止する	36
カトラリーバスケット	24		

プログラムを中断する	37
装置のスイッチをオフにする	37
基本設定	38
基本設定の概要	38
基本設定を変更する	40
Home Connect	40
Home Connectクイックスタート ...	41
Home Connect設定	41
Remote Start □	42
ソフトウェアアップデート	42
個人情報保護	42
洗浄とメンテナンス	42
洗浄容器を洗浄する	42
洗浄剤	43
装置のお手入れに関するヒント	43
装置のお手入れ ☞	43
フィルターシステム	44
スプレーアームを洗浄する	45
故障を修理する	47
装置の安全性	47
エラーコード / エラー表示 / 信号 ...	47
洗浄結果	50
Home Connectの問題	58
ディスプレイ部の注意事項	58
機能障害	59
機械的損傷	61
ノイズ	62
排水ポンプを洗浄する	63
輸送、保管、廃棄処分	63
装置を取り外す	63
装置を凍らないようにする	63
装置を輸送する	64
中古製品の廃棄処分	64
カスタマーサービス	64
製造番号(E-Nr.)、シリアル番号	
(FD)、コード番号(Z-Nr.)	64
AQUA-STOP保証	65

技術仕様	65
フリーおよびオープンソースソフト	
ウェアに関する情報	65
適合宣言	66



安全性

次の安全上の注意事項に留意してください。

一般的注意事項

- 本説明書をよくお読みください。
- 本説明書および製品情報は、今後の使用または後の所有者のために保管しておいてください。
- 輸送による損傷がある場合は、機器を接続しないでください。

目的の用途

機器を使用する際は、以下の点を確認してください。

- 家庭での食器洗いに。
- 個人の家庭および、家庭環境で閉じた空間で。
- 最大で海拔2000mの高さまで。

ユーザーグループの制限

本装置は、8歳以上のお子様および身体、感覚または精神的な能力に制限がある、あるいは経験および / または知識が不足している人でも、監督の下、または本人が本装置の安全な使用に関して説明を受け、かつ結果として生ずる危険を理解した場合は、使用することができます。

お子様が本機器で遊ぶことは許されません。

洗浄とユーザーによる保守は、監督下にはないお子様が行ってはなりません。

8歳未満のお子様がお子様本装置および接続配線・配管に近づかないようにしてください。

安全な設置



警告 – 負傷の危険!

不適切な設置を行った場合、負傷の原因となる恐れがあります。

- ▶ 本装置の設置・接続を行う際は、取扱説明書および取付説明書の指示に従ってください。

⚠ 警告 – 電磁場の危険!

- 不適切な設置は危険です。
 - ▶ 本装置は、必ず銘板の表示に従って接続し、作動させてください。
 - ▶ 同梱されている新しい機器の電源ケーブルを常に使用します。
 - ▶ 本装置は、必ず規則に従って据え付けられたソケットを経由して、交流電流の電源にアース接続します。
 - ▶ 家庭内電気配線の保護接地網が規定どおりに設置されている必要があります。
 - ▶ 絶対に外部切替え装置（タイムスイッチやリモコンなど）を使用して本装置に電源を供給しないでください。
 - ▶ 本装置が取り付けられている場合、電源接続配線の電源プラグを自由にアクセスできるようにするか、あるいは自由にアクセスできない場合は、設置規定に従って固定式電気設備内に全極切断装置を取り付けてください。
 - ▶ 装置を設置するときは、電源接続配線の挟込みや損傷が生じないように注意してください。
- 吸気ホースの切断またはアクアストップバルブの浸水は危険です。
 - ▶ 絶対にプラスチック製ボディーを水に浸さないでください。プラスチック製ボディーの吸気ホースには電気式バルブが付いています。
 - ▶ 絶対に吸気ホースを切断しないでください。吸気ホースに電気接続配線があります。

⚠ 警告 – 火災の危険!

- 延長電源接続配線や未許可のアダプターの使用は危険です。
 - ▶ 延長ケーブルまたはマルチタップストリップは使用しないでください。
 - ▶ メーカー認定アダプターと延長電源接続配線のみを使用してください。
 - ▶ 電源接続配線が短すぎ、延長電源接続配線が利用できない場合は、電気専門店の問い合わせで屋内電気設備の調整をしてもらってください。

- 装置と設備配管（ガスや電気等）の接触は設備配管の故障の原因になることがあります。腐食したガス配管から供給されるガスが燃焼するおそれがあります。損傷した電線は短絡接続を招くおそれがあります。
 - ▶ 装置と設備配管の間を少なくとも 5 cm 空けるようにしてください。

⚠ 警告 – 負傷の危険!

装置のドアを開閉する際には、ヒンジが動くため、けがをするおそれがあります。

- ▶ ベースとなっている装置または統合可能な装置が周囲を囲まれたスペースに設置されておらず、そのために側面へのアクセスが可能な場合、ヒンジ部分は側面をカバーする必要があります。そのためのカバーは、特別アクセサリとして専門店または弊社のカスタマーサービスでご購入いただけます。

⚠ 警告 – 転倒の危険!

不適切な設置は本装置が転倒する原因となる恐れがあります。

- ▶ ビルトアンダー装置またはビルトイン可能装置は、必ず隣接キャビネットに確実に接続されている貫通式作業プレートの下にのみ取り付けてください。

安全な使用

⚠ 警告 – 健康に対する重大な損傷の危険!

洗浄剤製品およびリンス剤製品のパッケージに記載されている安全上の注意および使用上の注意に留意しなかった場合、重大な健康被害の原因となる恐れがあります。

- ▶ 洗浄剤製品およびリンス剤製品のパッケージに記載されている安全上の注意および使用上の注意に留意してください。

⚠ 警告 – 爆発の危険!

- 本装置の洗浄庫に溶剤を入れると、爆発を引き起こす恐れがあります。
 - ▶ 絶対に溶剤を本装置の洗浄庫に入れないでください。

- 本装置の洗浄庫で強刺激アルカリ性 / 強酸性洗浄剤をアルミニウム製部品と組み合わせると、爆発を引き起こす恐れがあります。
 - ▶ アルミニウム製部品（換気フードのグリースフィルターやアルミニウム鍋など）との関連で、本装置のお手入れなどには、絶対に業務用または産業用の強アルカリ性 / 強酸性洗浄剤を使用しないでください。

⚠ 警告 – 負傷の危険!

- 本装置のドアを開けたままにすると、負傷の原因となる恐れがあります。
 - ▶ つまづくなどの事故を防止するために、本装置のドアは、食器の収納および取り出しの際にのみ開けてください。
 - ▶ 開けた本装置のドアの上に座ったり、立ったりしないでください。
- ナイフや先端の尖った用具類は、負傷の原因となる恐れがあります。
 - ▶ ナイフや先端の尖った用具類は、先端側を下にして、カトラリーバスケット、ナイフホルダーまたはカトラリートレイに収納してください。

⚠ 警告 – 熱傷の危険!

- プログラム進行中に本装置のドアを開くと、本装置から高温水が噴出する恐れがあります。
- ▶ プログラム進行中に本装置のドアを開く場合は、慎重に行ってください。

⚠ 警告 – 電磁場の危険!

- 湿気が浸入すると、感電の原因となる恐れがあります。
 - ▶ 本装置は、必ず密閉した室内で使用してください。
 - ▶ 絶対に本装置を高温および湿気に曝さないでください。
 - ▶ ドライクリーナーや高圧クリーナーを使用して、本装置を洗浄しないでください。
- 電源コードの絶縁体が損傷していると危険です。
 - ▶ 食器洗浄機の電源コードが熱を持った装置部品または熱源に接触することが絶対にないようにしてください。

- ▶ 電源コードが鋭い先端や角に接触することが絶対にないようにしてください。
- ▶ 絶対に電源コードを曲げたり、つぶしたり、あるいは改造したりしないでください。

⚠ 警告 – 火傷の危険□!

ゼオライト容器の排気口は熱くなるため、やけどをする恐れがあります。

- ▶ ゼオライト容器の排気口に絶対に触れないでください。

装置の損傷

⚠ 警告 – 電磁場の危険!

- 装置が損傷したり、電源コードの絶縁体が損傷したりしていると危険です。
 - ▶ 損傷した機器は、絶対に稼働させないでください。
 - ▶ 絶対に表面に亀裂が入ったり、破損した装置を作動させないでください。
 - ▶ 絶対に電源接続配線から引いて、本装置を電源から切り離さないでください。必ず電源コードのプラグを抜いてください。
 - ▶ 本装置または電源接続配線が損傷している場合は、ただちに電源接続配線の電源プラグを引き抜くか、ヒューズボックスのヒューズをオフにして、給水栓を閉めます。
 - ▶ "カスタマーサービスに連絡してください。" → ページ 64
- 不適切な修理は危険です。
 - ▶ 専門訓練を受けた専門技術者のみが本装置の修理を行うことができます。
 - ▶ 本装置を修理する際は、必ず純正交換部品を使用してください。
 - ▶ 本装置の電源接続配線が損傷している場合、メーカーまたはそのカスタマーサービスから入手した専用の接続配線と交換する必要があります。

お子様にとっての危険

⚠ 警告 – 窒息の危険!

- お子様が梱包材を頭に被ったり、その中でからまったりすることで、窒息する恐れがあります。
 - ▶ 梱包材にお子様が近づかないようにしてください。
 - ▶ お子様を梱包材で遊ばせないでください。
- お子様が小さな部品を吸い込んだり、飲み込んだりすることによって、窒息する恐れがあります。
 - ▶ 小さな部品にお子様が近づかないようにしてください。
 - ▶ お子様を小さな部品で遊ばせないでください。
- お子様が本装置の中に閉じ込められ、窒息してしまうこともあります。
 - ▶ チャイルドロックが備わっている場合、これを使用してください。
 - ▶ 絶対にお子様を本装置で遊ばせたり、お子様に本装置を作動させないでください。

⚠ 警告 – 健康に対する損傷の危険!

子どもが装置内に閉じ込められて生命に危機にさらされるおそれがあります。

- ▶ 使用済み装置では、電源コードのプラグを抜いてから電源コードを分断し、装置のドアの錠前を破壊して、装置のドアが閉じられなくなるようにしてください。

⚠ 警告 – 圧碎の危険!

上置き装置の場合、装置のドアとその下にあるキャビネットドアの間にお子様が挟み込まれる恐れがあります。

- ▶ 本装置のドアの開閉時は、お子様に注意してください。

⚠ 警告 – 化学熱傷の危険!

リンス剤製品および洗浄剤製品は、口、のど、眼に入ると炎症を起こす恐れがあります。

- ▶ リンス剤製品および洗浄剤製品にお子様が近づかないようにしてください。
- ▶ 開けた状態の本製品にお子様が近づかないようにしてください。洗浄庫の水は飲料水ではありません。洗浄剤およびリンス剤の残存物がまだ残っていることがあります。

⚠ 警告 – 負傷の危険!

お子様がその小さな指をタブレット収集トレーのスリットに挟み込まれたり、負傷する恐れがあります。

- ▶ 開けた状態の本製品にお子様が近づかないようにしてください。

セーフティーシステム

本装置によって発生する恐れのある危険からお子様を保護してください。

本装置には、"チャイルドロック" → ページ 12 が装備されています。

物的損傷の回避

安全な設置

注意!

- 不適切な設置を行った場合、本装置の損傷の原因となる恐れがあります。
 - ▶ 本食器洗浄機を他の家庭用装置の上または下に組み込む場合、本食器洗浄機と組み合わせた取り付けに関する情報については、それぞれの家庭用装置の組立説明書に記載されている情報に従ってください。
 - ▶ 情報がない、または該当する注意事項が組立説明書に記載されていない場合、本食器洗浄機を他の家庭用装置の上または下に確実に取り付けるために、それらの家庭用装置のメーカーにお問い合わせください。
 - ▶ メーカーから情報が提供されていない場合、本食器洗浄機をそれらの家庭用装置の上または下に組み込むことはできません。
 - ▶ また、すべての家庭用装置の安全な運転を保証するために、本食器洗浄機の組立説明書にも留意してください。
 - ▶ 食器洗浄機を調理場の下に取り付けられないでください。
 - ▶ 本食器洗浄機は、熱源（ヒーター、蓄熱機、オーブン、またはその他の熱発生装置など）の近くには設置しないでください。
- 装置の排水管の接触は排水管の腐食を招き、排水管に漏れが生じることがあります。
 - ▶ 装置と排水管の間を少なくとも5 cm 空けるようにしてください。同梱の排水接続および飲料水接続用配管はこの限りではありません。

- 水ホースの変質または損傷が物的損害または装置の損害の原因となるおそれがあります。
 - ▶ 絶対に水ホースを折り曲げたり、つぶしたり、変質させたり、切断したりしないでください。
 - ▶ 同梱の水ホースまたは純正の交換ホースのみを使用してください。
 - ▶ 使用済み水ホースを再使用するのには絶対におやめください。
- 水圧が低すぎる、または高すぎる場合、機器の機能が損なわれるおそれがあります。
 - ▶ 水供給設備の水圧が最低50 kPa (0.5 bar) ~ 最高1000 kPa (10 bar) であることを確認してください。
 - ▶ 水圧が表示された最高値を超える場合は、飲料水接続部と機器のホースセットの間に減圧バルブを取り付ける必要があります。

安全な使用

注意!

- 蒸気が発生すると、取り付け家具を損傷する恐れがあります。
 - ▶ プログラム終了後、装置をしばらく冷ましてからドアを開けてください。
- 食器洗浄機用特殊塩は洗浄容器を腐食によって損傷する恐れがあります。
 - ▶ 洗浄容器から溢れた特殊塩が洗浄されるよう、特殊塩はプログラムスタート直前に特殊塩ストック容器に入れます。
- 洗浄剤は、軟水化装置を損傷する恐れがあります。
 - ▶ 軟水化装置のストック容器には、食器洗浄機用特殊塩のみを入れてください。
- 不適切な洗浄剤は本装置を損傷する恐れがあります。
 - ▶ スチームクリーナーを使用しないでください。
 - ▶ 装置表面に搔き傷をつけないよう、表面の粗いスポンジや磨き洗浄剤は使用しないでください。

ja チャイルドロック

- ▶ 腐食を防止するために、ステンレス製フロントを備えた食器洗浄機の場合、スポンジクロスの使用はお控えください。さもないければ初めて使用する前に何度もよく洗ってください。

チャイルドロック

チャイルドロックを使用して、本装置によって発生する恐れのある危険からお子様を保護してください。本装置には、ドアロックが装備されています。

ドアロック

ドアロックは、機械的セキュリティシステムであり、本装置のドアを開けられないようにします。ドアロックは、有効 / 無効にできません。

⚠ 警告 窒息の危険!

お子様が本装置の中に閉じ込められ、それにより窒息してしまう恐れがあります。

- ▶ ドアロックを有効にして、本装置のドアを閉めてください。

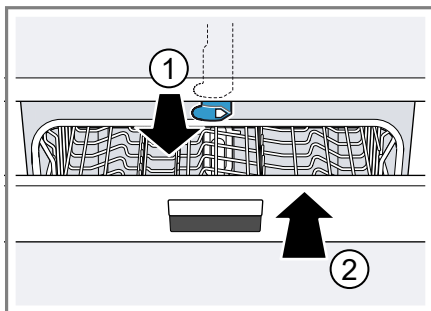
→ "装置のドアを開く", ページ 35

ドアロックの有効化

注記：ドアロックは、手動で無効化されるまで、有効のままです。

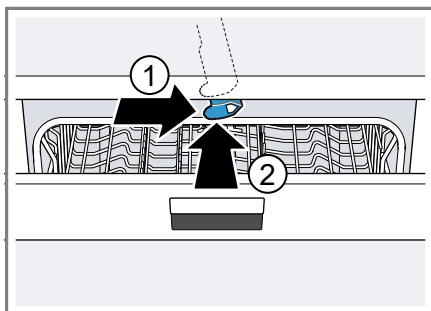
1. 本装置のドアを開きます。

2. チャイルドロックのジョイントを前方へ引き①、本装置のドアを閉じます②。



ドアロックの無効化

1. 本装置のドアを開きます。
2. チャイルドロックのジョイントを右へ押し①、後方へ押し込みます②。



3. 本装置のドアを閉じます。

環境保護と資源の節約

梱包の廃棄処分

梱包材は環境を害することなく、再利用可能です。

- ▶ 各パーツは、種類ごとに分別して廃棄してください。

省エネ

次の注意事項に従うと、本装置の電力消費および使用水量が減ります。

Eco 50°プログラムを使用します。

+ Eco 50°プログラムは環境にも優しく、省エネ型です。
→ "プログラム", ページ 20

洗浄する食器が少ない場合（例えば、グラス、カップ、皿）、「ハーフロード」に切り替えることができます。¹

+ プログラムが積載量の低下に適合し、電力消費値が削減されます。
→ "追加機能", ページ 22

センサー設定を標準に変更します。

+ 電力消費値が削減されます。
→ "センサー", ページ 13

ゼオライトの乾燥にすると自動的に省エネに貢献します。

+ → "ゼオライトの乾燥②", ページ 13

ゼオライトの乾燥②

本装置には、ゼオライト容器が装備されています。ゼオライトの乾燥によって、エネルギーを節約することができます。

ゼオライトは、湿気と熱エネルギーを蓄え、再放出できる鉱物です。洗浄時、熱エネルギーを使用して、すすいだ水を加熱し、鉱物を乾燥します。

乾燥時には、洗浄庫の湿気が鉱物に蓄えられ、熱エネルギーが放出されます。この熱エネルギーは、洗浄庫内にドライエアーで吹き出します。この原理によって乾燥が早くなり、乾燥状態も良くなります。

そのため、ゼオライトの乾燥は省エネ性に極めて優れています。

アドバイス：ゼオライトの乾燥の機能性を損なわないようにするため、ゼオライト容器の吸込み口および排気口の直前に食器を置かないでください。温度に敏感な食器をゼオライト容器の排気口の直前に置かないでください。
→ "装置", ページ 16

アクアセンサー

アクアセンサーは、すすぎ水の濁りを測定する光学的測定装置（光電センサー）です。アクアセンサーを使用して節水することができます。アクアセンサーの使用は、プログラムによって決定されます。汚れがひどい場合、すすぎ水は排水され、浄水に入れ換えられます。汚れが少ない場合、すすぎ水は次のすすぎに利用され、使用水量を3～6リットル削減できます。自動プログラムでは、さらに温度および運転時間を汚れ具合に合わせて調整します。

センサー

センサーは、汚れの程度および種類に応じてオートプログラムのプログラム手順とプログラム強度を調整します。センサーには、基本設定内で変更可能な異なる感度レベルがあります。

センサーレベル	説明
SE:00	混合洗浄と汚れの程度が高い場合に最適な設定。省エネかつ水を節約。

¹ 装置の仕様により異なる

センサーレベル	説明
SE:01	この設定は、汚れの程度が低くても、食べ物の残りを効果的に取り除くようにプログラム強度を適合します。エネルギー消費量および水使用量は、それに合わせて調整されます。
SE:02	例えば、食べ物の残りが強度に乾燥してしまった場合など、厄介な使用条件に対応してプログラム強度を適合します。環境に優しい洗剤を使用したり、または含まれる有効成分が少ない場合に推奨する設定。エネルギー消費量および水使用量は、それに合わせて調整されます。

据付けと接続

規定通りの作動のために本装置を適切に電源および水に接続してください。要求される基準および組立説明書に留意してください。

納品物一式

開梱後は運搬による損傷がないかどうか、また欠けている物がないかどうか全部品を確認してください。クレームは、本装置をお求めになった販売店または弊社カスタマーサービスが承ります。

注記：ご購入いただいた本装置は、その機能に支障がないか工場で検査されています。本装置に検査の際の水垢が

残っていることがあります。その水垢は、最初の洗浄プロセスの後に消えます。

納品物は下記の通りです：

- 食器洗浄機
- 使用説明書
- 組立説明書
- その他の情報ドキュメント
- 組立資料
- 蒸気保護プレート
- 電源ケーブル
- クイックマニュアル

装置の据付けと接続

お使いの下部構造装置または一体型装置は、ウッドパネルとプラスチックパネルの間のキッチンユニットに取り付けることができます。本装置を独立型装置として後から据え付けられる場合は、例えば、壁へのねじ固定によって、または隣接キャビネットにねじ留めされている、全通するワークプレートの下への組込みによって、転倒しないように対策をとる必要があります。

1. "安全上の注意事項に留意してください。" → ページ 4
2. "電気接続に関する注意に留意してください。" → ページ 15
3. 納品物一式と本装置の状態を点検してください。
4. 必要な取付寸法は組立説明書をご参照ください。
5. 本装置は、調整可能フットを使って垂直に据え付けます。
その際、安定した状態を確保します。
6. "排水接続部を取り付ける" → ページ 15
7. "飲料水接続部を取り付ける" → ページ 15
8. 本装置を電源に接続します。

排水接続

洗浄プロセスによって汚水を排水できるようにするため、お使いの装置を排水接続部に接続します。

排水接続部を取り付ける

1. 必要な手順は、同梱の組立説明書をご参照ください。
2. 排水ホースは、同梱のパーツを使用して吸上げ管のドレンプラグに接続します。
3. 排水ホースが折れ曲がらないように、圧搾されないように、または絡み合わないように注意してください。
4. 封止栓が排水放出を妨げないように注意してください。

飲料水接続

お使いの装置を飲料水接続部に接続してください。

飲料水接続部を取り付ける

注記

- 本装置を交換する場合は、新品の給水ホースを使用してください。
1. 必要な手順は、同梱の組立説明書をご参照ください。
 2. 同梱のパーツを使用して、本装置を飲料水接続部に接続します。
"技術仕様" → ページ 65に留意してください。
 3. 飲料水接続が折れ曲がらないように、圧搾されないように、または絡み合わないように注意してください。

電気接続

装置の電気接続

注記

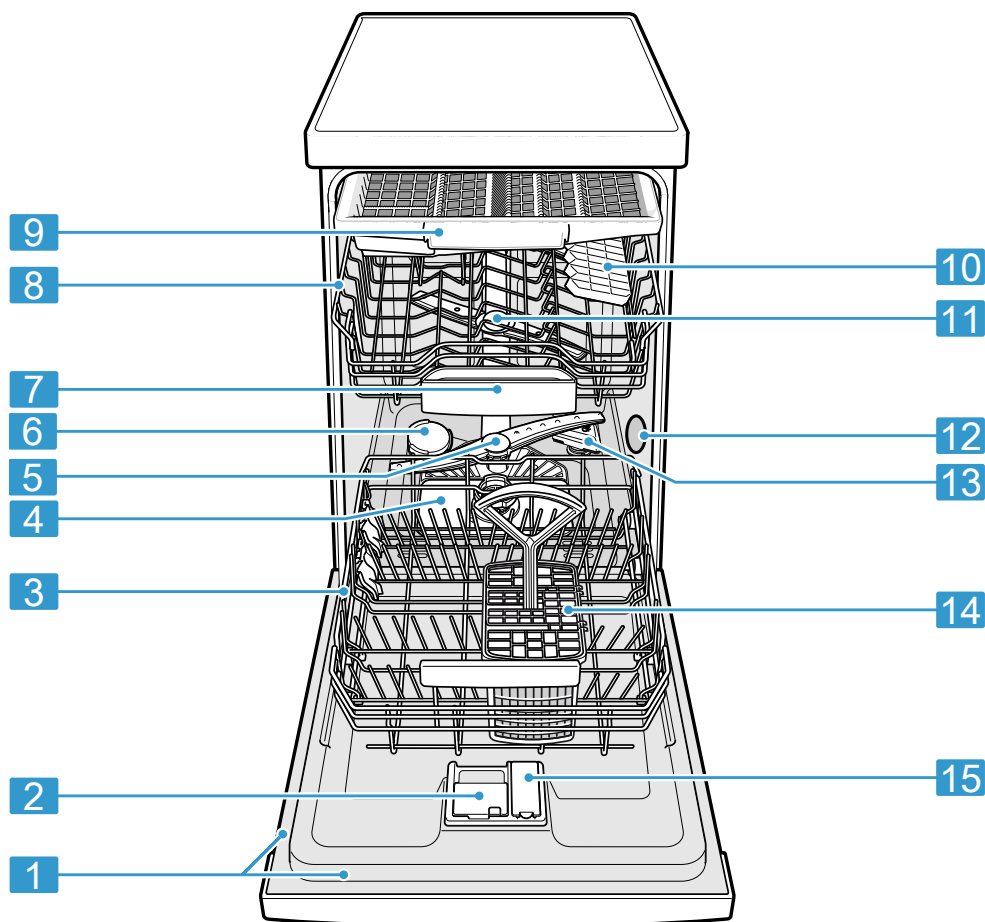
- 安全上の指示を "お読みください" → ページ 4.

- 本装置は、必ず200 Vおよび50 Hzまたは60 Hzの範囲の交流電圧に接続してください。
 - 水安全装置は電力供給時にのみ機能することに注意してください。
1. 本装置に電源接続配線の電源プラグを差し込みます。
 2. 本装置の電源プラグを本装置付近のソケットに差し込みます。
本装置の接続データは銘板をご参照ください。
 3. 電源プラグの座りがしっかりしているか点検してください。

よく知る

装置

ここで、お使いの装置の構成部品の概要をご覧ください。



1 銘板

"E 番号および FD 番号" → ページ164付き銘板。
このデータは"カスタマーサービス" → ページ164にお問い合わせの際に必要となります。

¹ 装置の仕様により異なる

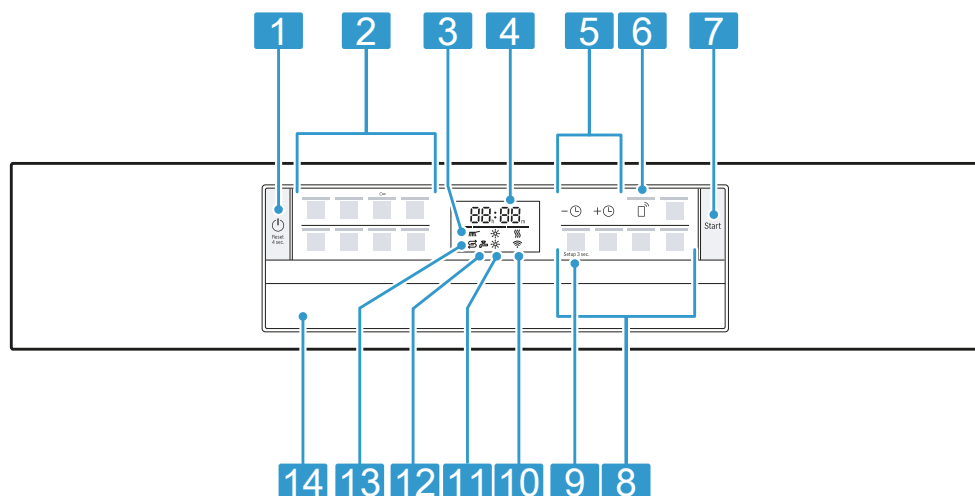
2	洗浄剤室	洗浄剤室に"洗浄剤"→ ページ131を充填します。
3	下段食器バスケット	"下段食器バスケット"→ ページ124
4	フィルターシステム	"フィルターシステム"→ ページ144
5	下段スプレーアーム	下段スプレーアームによって下段食器バスケットの食器が洗浄されます。 食器の洗浄が最適でない場合、スプレーアームを洗浄してください。 → "スプレーアームを洗浄する", ページ145
6	特殊塩ストック容器	特殊塩ストック容器に特殊塩を充填します。 → "軟水化装置", ページ127
7	タブレットトレイ	洗浄プロセス中、自動的にタブレットが洗浄剤室からタブレットトレイに落ち、そこでタブレットは最適に溶解することができます。
8	上段食器バスケット	"上段食器バスケット"→ ページ123
9	カトラリートレイ	"カトラリートレイ"→ ページ125
10	壁棚 ¹	"壁棚"→ ページ126
11	上段スプレーアーム	上段スプレーアームが上段食器バスケットの食器を洗浄します。 食器の洗浄が最適でない場合、スプレーアームを洗浄してください。 → "スプレーアームを洗浄する", ページ145
12	ゼオライト容器の吸込み口	この吸込み口は"ゼオライトの乾燥"→ ページ113用に必要です。
13	ゼオライト容器の排気口	この排気口は"ゼオライトの乾燥"→ ページ113用に必要です。
14	カトラリーバスケット	"カトラリーバスケット"→ ページ124
15	リンスストック容器	リンスストック容器にリンス剤を充填してください。 → "リンス剤装置", ページ129

¹ 装置の仕様により異なる

操作部

操作部で、お使いの装置のすべての機能を設定し、作動状態に関する情報を得られます。

いくつかのボタンでさまざまな機能を実行できます。



1	オン / オフボタン とリセットボタン Reset 4 sec.	"装置のスイッチをオンにする" → ページ 35 "装置のスイッチをオフにする" → ページ 37 "プログラムを中断する" → ページ 37
2	プログラムボタン	"プログラム" → ページ 20
3	プログラム進行ディスプレイ	プログラム進行ディスプレイは、装置のどのプログラム（洗浄、すすぎ、または乾燥など）が進行中であることを表示します。
4	ディスプレイ	このディスプレイには、プログラム進行、残存運転時間または基本設定に関する情報が表示されます。ディスプレイおよび設定ボタンによって基本設定を変更できます。 → "基本設定を変更する", ページ 40
5	時間事前選択および設定ボタン	"時間事前選択を設定する" → ページ 36 "基本設定を変更する" → ページ 40
6	Remote Start	→ "Remote Start ", ページ 42
7	スタートボタン Start	"プログラムをスタートする" → ページ 36
8	プログラムボタンと追加機能	プログラム → "プログラム", ページ 20 追加機能 → "追加機能", ページ 22

¹ 装置の仕様により異なる

9	ボタン Setup 3 sec.	Setup 3 sec. を約3秒間押すと、基本設定が表示されます。 → "基本設定を変更する", ページ40
10	WLAN表示	"Home Connect" → ページ40
11	リンス剤補充表示	リンス剤装置 → "リンス剤を充填する", ページ29
12	水供給口表示	水供給口用表示
13	特殊塩補充表示	軟水化装置 → "特殊塩を充填する", ページ28
14	ドアハンドル ¹	"装置のドアを開きます。" → ページ35

¹ 装置の仕様により異なる

プログラム

ここで、設定可能なプログラムの概要をご覧ください。装置構成によって使用できるプログラムが異なります。それについてはお使いの装置のコントロールパネルをご覧ください。

選択したプログラムによって、運転時間が異なることがあります。運転時間は、水温、食器量、汚れ度合、および選択した追加機能によって左右されま

す。リンス剤装置のスイッチをオフにした場合、またはリンス剤不足の場合、運転時間が変わってきます。消費値は、クイックマニュアルをご覧ください。使用量は通常条件と水硬度の値13 - 16 °dHに関係しています。水の温度または配管の圧力といった様々な影響要因によって誤差が生じることがあります。

プログラム	使用	プログラム進行	追加機能
 強力洗浄 70°	食器： ■ 鍋、フライパン、壊れにくい食器、およびカトラリーを洗浄します。 汚れ度合： ■ こびりつきの強い、焦げてまたは乾いて付着した、デンプンまたはタンパク質を含む食べ物の残りを除去します。	強力洗浄： ■ 予備洗い ■ 洗浄70 °C ■ 中間すすぎ ■ すすぎ洗い50 °C ■ 乾燥	すべて → "追加機能", ページ122
Auto 自動45° ~ 65°	食器： ■ 様々な種類の食器およびカトラリーを洗浄します。 汚れ度合： ■ 軽くこびりついた、家庭で一般的な食べ物の残りを除去します。	センサー調整： ■ すすぎ水の汚れに応じて、センサーによって最適化されます。	すべて → "追加機能", ページ122
Auto 自動65° ~ 75°	食器： ■ 鍋、フライパン、壊れにくい食器、およびカトラリーを洗浄します。 汚れ度合： ■ ひどくこびりついた、焦げてまたは乾いて付着した、デンプンまたはタンパク質を含む食べ物の残りを除去します。	センサー調整： ■ すすぎ水の汚れに応じて、センサーによって最適化されます。	すべて → "追加機能", ページ122

プログラム	使用	プログラム進行	追加機能
Eco Eco 50°	食器： ■ 様々な種類の食器およびカトラリーを洗淨します。 汚れ度合： ■ 軽くこびりついた、家庭で一般的な食べ物の残りを除去します。	最大節約プログラム： ■ 予備洗い ■ 洗淨50℃ ■ 中間すすぎ ■ すすぎ洗い35℃ ■ 乾燥	すべて → "追加機能", ページ122
 ガラス製品40°	食器： ■ 壊れやすい食器、カトラリー、高温に弱いプラスチックやグラス、および脚付きグラスバスケット内の脚付きグラスを洗淨します。 汚れ度合： ■ こびりつきの弱い、付着して間もない食べ物の残りを除去します。	特別クリア仕上げ： ■ 予備洗い ■ 洗淨40℃ ■ 中間すすぎ ■ すすぎ洗い50℃ ■ 乾燥	特別乾燥 ハーフロード SpeedPerfect+ → "追加機能", ページ122
 Express 65° - 1h	食器： ■ 様々な種類の食器およびカトラリーを洗淨します。 汚れ度合： ■ 軽くこびりついた、家庭で一般的な食べ物の残りを除去します。	時間調整： ■ 洗淨65℃ ■ 中間すすぎ ■ すすぎ洗い69℃ ■ 乾燥	特別乾燥 → "追加機能", ページ122
 Express 45°	食器： ■ 壊れやすい食器、カトラリー、高温に弱いプラスチック、およびグラスを洗淨します。 汚れ度合： ■ こびりつきの弱い、付着して間もない食べ物の残りを除去します。	時間調整： ■ 洗淨45℃ ■ 中間すすぎ ■ すすぎ洗い50℃	特別乾燥 → "追加機能", ページ122

プログラム	使用	プログラム進行	追加機能
 予備洗い	食器： ■ 食器種すべてを洗浄します。 汚れ度合： ■ 冷水すすぎ、中間洗浄。	冷水すすぎ： ■ 予備洗い	なし
 装置のお手入れ	装置の中を片づけた状態でのみ使用します。	装置のお手入れ70℃	なし

注記：Eco 50° プログラムで運転時間が比較的長いのは、長い柔軟化時間および乾燥時間によるものです。これにより最適な消費量が得られます。

テスト機関のための注意事項

テスト機関には、比較テスト（例えば、EN60436準拠）に関する注意事項を提供します。それにはテスト実施条件が記載されていますが、結果または消費値は記載されていません。
メールによる問い合わせ先：
dishwasher@test-appliances.com
製品番号（E-No.）および製造番号（FD）が必要な場合、本装置のドアにある銘板をご覧ください。

追加機能

ここで、設定可能な追加機能の概要をご覧ください。装置構成によって使用できる追加機能が異なります。それについてはお使いの装置のコントロールパネルをご覧ください。

追加機能	使用
Speed+ Perfect SpeedPerfect+	■ 運転時間は洗い流しプログラムにより15%～75%短縮されます。 ■ 追加機能は、プログラムスタート前とプログラム進行

追加機能	使用
	中はいつでも有効にすることができます。 ■ 水使用量とエネルギー消費量が増大します。
 ハーフロード	■ 食器が少ない場合、スイッチを入れます。 ■ フルロードでの洗浄のときの推奨量よりも、少な目の洗浄剤を洗浄剤室に入れてください。 ■ 運転時間が短縮されます。 ■ 水使用量とエネルギー消費量が削減されます。

追加機能	使用
Hygiene ⁺ Hygiene+	■ 装置および食器の衛生状態を改善するため、温度が上昇し、特別に長い時間維持されます。 ■ 特にまな板や哺乳瓶の洗浄に適しています。 ■ この機能を継続的に使用すると、よりよい衛生状態を得られます。 ■ そのため運転時間は長くなり、エネルギー消費量は上昇します。
(((+) 特別乾燥	■ 乾燥結果を改善するには、すすぎ洗い温度を上げて乾燥段階を延長します。 ■ 特にプラスチック製品の乾燥に適しています。 ■ エネルギー消費量が少し上昇し、運転時間が延長されます。

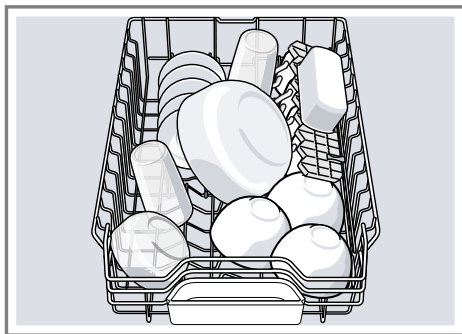
装備

ここでは、ご使用の本装置の可能な装備とその使用についての概要をご覧ください。

装備はご使用の本装置のバリエーションにより異なります。

上段食器バスケット

カップ、グラス、小さな食器を上段食器バスケットに収納します。

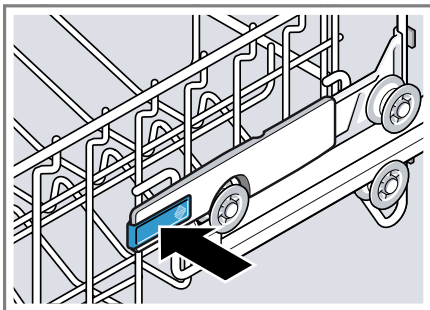


上段食器バスケットの高さを調節することで、大きめの食器のためのスペースを確保できます。

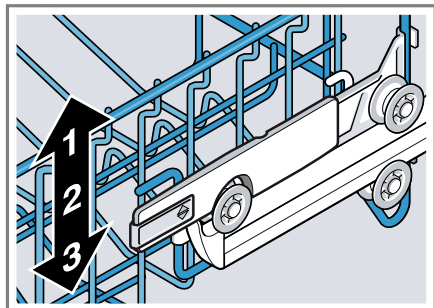
側面にレバーを使って上段食器バスケットを設定する

大型の食器を食器バスケットで洗浄するために、上段食器バスケットを挿入する高さを調整することができます。

1. 上段食器バスケットを引き出します。
2. 食器バスケットの落下を防止するには、食器バスケットを上端のサイド側からしっかりとつかみます。
3. 食器バスケット外側の左右レバーを内側へ押します。



4. 食器バスケットを適切なレベルへ均等に上げ下げします。

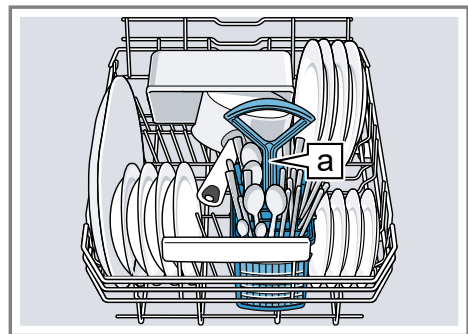


上段食器バスケットの両サイドが同じ高さに位置しているか確認します。

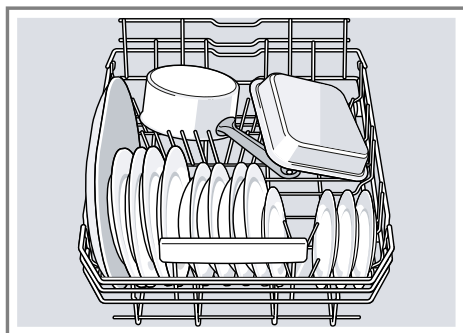
5. レバーを離します。
✓ 食器バスケットはカチッとハマります。
6. 食器バスケットを差し込みます。

下段食器バスケット

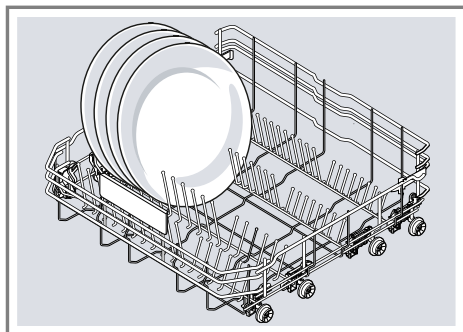
鍋や皿を下段食器バスケットに収納します。



カトラリーバスケット [a]¹

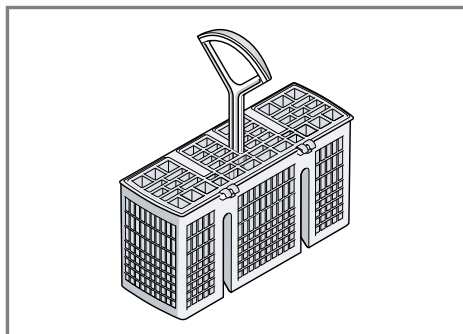


直径 31 cm までの大皿は、下段食器バスケットに画像のように収納します。



カトラリーバスケット

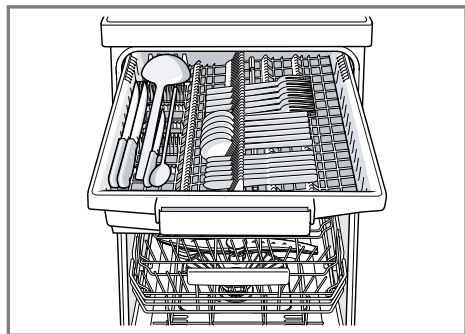
カトラリーはいつも種類を分けずに尖った方を下にしてカトラリーバスケットに収納します。



¹ 装置の仕様により異なる

カトラリートレイ

カトラリーをカトラリートレイに収納します。



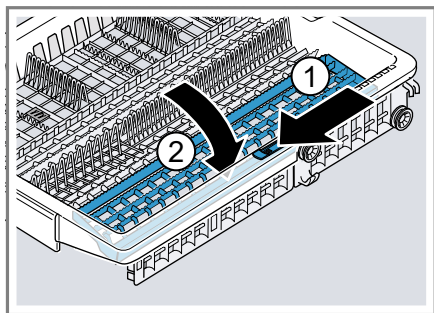
カトラリーはいつも尖った方を下にして収納します。

長尺で幅広なカトラリーピースのためにスペースを確保するために、カトラリートレイを付け替えることができます。

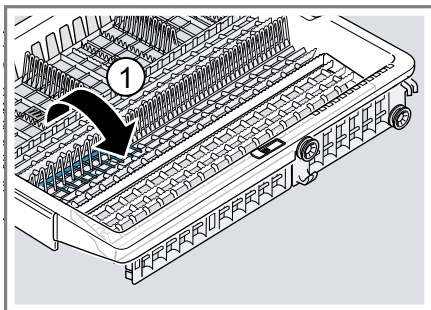
カトラリートレイを付け替える

より高く幅広なカトラリーのためのスペースを確保するために、側面にある棚を下にたたみ、前方のギザギザの列をたたむことができます。

1. 側面にある棚を下にたたむには、レバーを前方へ押してから ①、側面にある棚を下にたたみます ②。

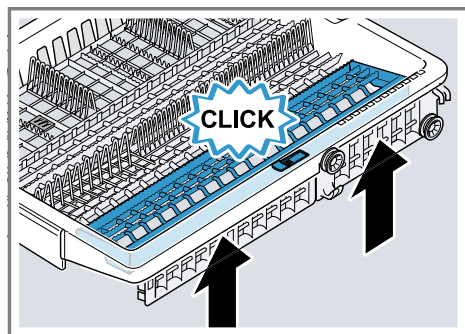


2. 前方のギザギザの列をたたむには、レバーを前方へ押してから、折りたたみ式仕切り棒をたたみます①。



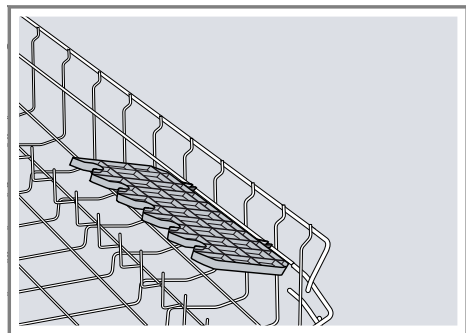
アドバイス

カトラリートレイを元の位置に戻す場合は、カチッと音を立ててはまるまで、側面にある棚を上にはたためます。



壁棚

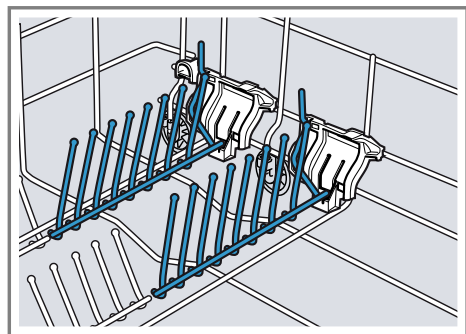
小さなカップおよびグラス、またはおたまやカービングセットといった大型のカトラリーを収納するには、壁棚およびその下のスペースを使用します。



壁棚が必要ない場合は、これを上にたたんでおくことができます。

折りたたみ式仕切り棒

皿などの食器を安全に仕分けして収納するには、折りたたみ式仕切り棒を使用します。

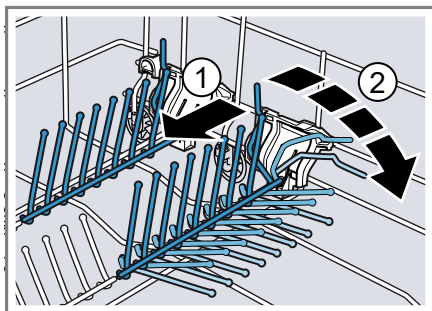


鍋、ボール、およびグラスを上手く収納するために、折りたたみ式仕切り棒をたたむことができます。¹

折りたたみ式仕切り棒をたたむ¹

折りたたみ式仕切り棒が必要ない場合、これをたたみます。

1. レバーを前方へ押し①、折りたたみ式仕切り棒をたたみます②。



2. 折りたたみ式仕切り棒を再び使用する場合は、これを起こします。
- ✓ 折りたたみ式仕切り棒はカチッと音を立ててはまります。

¹ 装置の仕様により異なる

食器バスケット高さ

食器バスケットを適切な高さに設定します。

カトラリーバスケット使用時の本装置の高さは 81.5 cm

レベル	上段バスケット	下段バスケット
1 最大ø	22 cm	30 cm/"31 cm" → ページ 124
2 最大ø	24.5 cm	27.5 cm
3 最大ø	27 cm	25 cm

カトラリートレイ使用の本装置の高さは 81.5 cm

レベル	上段バスケット	下段バスケット
1 最大ø	16 cm	30 cm/"31 cm" → ページ 124
2 最大ø	18.5 cm	27.5 cm
3 最大ø	21 cm	25 cm

初めてご使用になる前に

初回運転開始を実施する

初回運転開始時または初期設定へのリセット時、設定を行う必要があります。

アドバイス：お使いの装置を携帯端末に接続します。Home Connectアプリによって、すべての設定を快適に実施することができます。
→ "Home Connect クイックスタート", ページ 41

必要条件："本装置は据え付けられ、接続されています。" → ページ 14

1. "特殊塩を充填する。" → ページ 28
2. "リンス剤を充填する。" → ページ 29
3. "装置のスイッチをオンにする。" → ページ 35
4. "軟水化装置を設定する。" → ページ 28

5. "リンス剤使用量を設定する。" → ページ 30
6. "洗浄剤を入れます" → ページ 31。
7. プログラムを最高洗浄温度で食器を入れない状態でスタートします。
水垢やその他の残留物があるかもしれないため、初回運転前に装置を食器なしの状態で作動することをお勧めします。

アドバイス：上記の設定とその他の"基本設定" → ページ 38は、いつでも再変更することができます。

軟水化装置

石灰分が含まれた硬水は、食器および洗浄容器上に石灰残存物を残し、装置部品を詰まらせることがあります。良い洗浄結果を得るために、軟水化装置と特殊塩を使用して軟水化することができます。装置の損傷を防止するために、硬度が7 °dH以上の水を軟水化する必要があります。

水硬度設定の概要

ここで、水硬度の設定可能な値の概要をご覧ください。

水硬度は、各地の給水施設に問い合わせるか、または水硬度テスターで特定することができます。

水硬度°dH	硬度範囲	mmol/l	設定値
0 - 6	軟	0 ~ 1.1	H:00
7 - 8	軟	1.2 ~ 1.4	H:01
9 - 10	中	1.5 ~ 1.8	H:02
11 - 12	中	1.9 ~ 2.1	H:03
13 - 16	中	2.2 ~ 2.9	H:04
17 - 21	硬	3.0 ~ 3.7	H:05
22 - 30	硬	3.8 ~ 5.4	H:06
31 - 50	硬	5.5 ~ 8.9	H:07

注記：お使いの装置を、算出した水硬度に設定してください。

→ "軟水化装置を設定する", ページ 28

水の硬度が 0 - 6 °dH の場合、食器洗浄機用特殊塩を使用せずに、軟水化装置のスイッチをオフにすることができます。

→ "軟水化装置のスイッチをオフにする", ページ 29

軟水化装置を設定する

本装置を水硬度に設定してください。

1. 水硬度と適切な設定値を算出します。
→ "水硬度設定の概要", ページ 28
2.  を押します。
3. Setup 3 sec. を3秒間押すと、基本設定が表示されます。
✓ ディスプレイに H:xx が表示されます。
✓ ディスプレイに **Set** が表示されます。
4. 一または十 を適切な水の硬度が設定されるまで繰り返し押してください。
工場出荷時は H:04 の値が設定されています。

5. Setup 3 sec. ボタンを3秒間押すと、設定内容が保存されます。

特殊塩

特殊塩を使用して軟水化することができます。

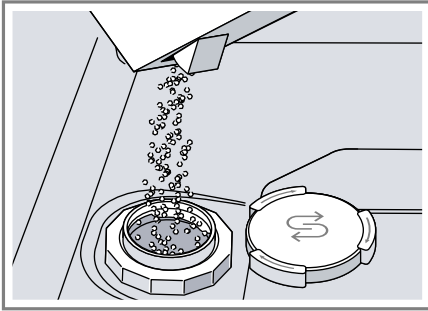
特殊塩を充填する

特殊塩補充表示が点灯している時、プログラムスタート直前に特殊塩を特殊塩ストック容器に充填してください。特殊塩の消費は、水の硬度によって決まります。水の硬度が高くなると、特殊塩の消費量が多くなります。

注意!

- 洗浄剤は、軟水化装置を損傷にする恐れがあります。
 - ▶ 軟水化装置のストック容器には、食器洗浄機用特殊塩のみを入れてください。
- 食器洗浄機用特殊塩は洗浄容器を腐食によって損傷する恐れがあります。
 - ▶ 洗浄容器から溢れた特殊塩が洗浄されるよう、特殊塩はプログラムスタート直前に特殊塩ストック容器に入れます。

1. 特殊塩ストック容器の蓋を回して取り外します。
2. 初めて運転を開始する時、ストック容器一杯に水を充填します。
3. 注記： 洗浄機用特殊塩のみを使用してください。
塩タブレットは使用しないでください。
食卓塩は使用しないでください。
ストック容器に特殊塩を充填します。



ストック容器一杯に特殊塩を充填します。ストック容器の水が押し出されて流れ出ます。

4. ストック容器に蓋を被せ、回して閉めます。

軟水化装置のスイッチをオフにする

特殊塩補充表示が邪魔になる場合（塩代替品含有混合洗浄剤を使用する場合など）、特殊塩補充表示をオフにすることができます。

注記

装置の損傷を防止するために、以下の場合にのみ、軟水化装置のスイッチをオフにしてください。

- 水硬度は最大21 °dHであり、特殊塩代替品含有混合洗浄剤を使用してください。特殊塩代替品含有混合洗浄剤は、メーカー指定によれば、特殊塩を追加しないと、水硬度21 °dH以下でしか使用することができません。

- 水硬度は0 - 6 °dHです。特殊塩は追加せずに済ませることができません。
1. を押します。
 2. Setup 3 sec. を3秒間押すと、基本設定が表示されます。
 - ✓ ディスプレイにH:xxが表示されます。
 - ✓ ディスプレイに **Set** が表示されます。
 3. ー または + を、ディスプレイにH:00が表示されるまで、何度も押します。
 4. Setup 3 sec. ボタンを3秒間押すと、設定内容が保存されます。
 - ✓ 軟水化装置および特殊塩補充表示がオフになりました。

リンス剤装置

リンス剤

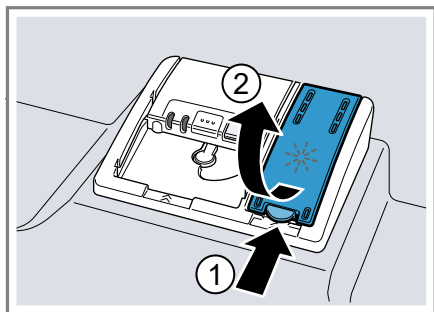
最適な乾燥結果を得るために、リンス剤を使用してください。必ず家庭用食器洗浄機専用のリンス剤を使用してください。

リンス剤を充填する

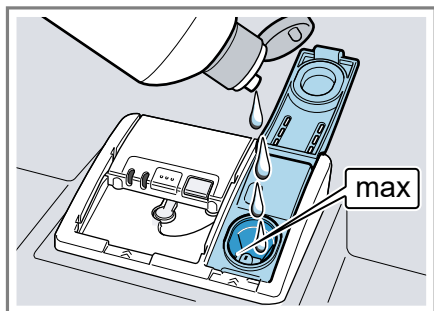
リンス剤補充表示が点灯している場合、リンス剤を補充してください。必ず家庭用食器洗浄機専用のリンス剤を使用してください。

ja リンス剤装置

1. リンスストック容器の蓋のラッチを押して ①、持ち上げます ②。



2. リンス剤を上限マークまで充填します。



3. リンス剤が溢れたら、リンス剤を洗浄容器から除去します。
溢れたリンス剤は、洗浄プロセス時に余分な泡を発生させる恐れがあります。
4. リンスストック容器の蓋を閉じます。
✓ 蓋はカチッと音を立てて閉まります。

リンス剤使用量を設定する

食器の表面に条痕または水垢が残っている場合は、リンス剤使用料を変更します。

1. ① を押します。
2. Setup 3 sec. を3秒間押すと、基本設定が表示されます。

- ✓ ディスプレイにH:xxが表示されます。
- ✓ ディスプレイに **set** が表示されます。
- 3. ディスプレイに初期設定値 r:04 が表示されるまで、Setup 3 sec. を何度も押します。
- 4. 一または十を、適切なリンス剤使用量が設定されるまで何度も押してください。
 - － レベルが下がると、洗浄プロセス中のリンスの追加量が減り、食器の条痕が減ります。
 - － レベルが上がると、洗浄プロセス中のリンスの追加量が増え、乾燥結果が向上します。
- 5. Setup 3 sec. ボタンを3秒間押すと、設定内容が保存されます。

リンス剤装置のスイッチをオフにする

リンス剤補充表示が邪魔になる場合（例えば、リンス成分含有混合洗浄剤を使用する場合）、リンス剤装置のスイッチをオフにすることができます。

アドバイス：リンス剤の機能は、混合洗浄剤を使用する場合、制限されてしまいます。リンス剤の使用すると、大抵の場合はより良い洗浄結果が得られます。

1. ① を押します。
2. Setup 3 sec. を3秒間押すと、基本設定が表示されます。
- ✓ ディスプレイにH:xxが表示されます。
- ✓ ディスプレイに **set** が表示されます。
3. ディスプレイに初期設定値 r:04 が表示されるまで、Setup 3 sec. を何度も押します。
4. 一または十を、ディスプレイに r:00 が表示されるまで、何度も押します。

5. Setup 3 sec. ボタンを3秒間押すと、設定内容が保存されます。
 ✓ リンス剤装置がオフになり、リンス剤補充表示が無効になりました。

洗浄剤

適切な洗浄剤

食器洗浄機に適している洗浄剤のみを使用してください。ソコ洗浄剤と混合洗浄剤のどちらも適しています。

最適な洗浄結果および乾燥結果を得るには、ソコ洗浄剤を"特殊塩"→ページ 28と"リンス剤"→ページ 29の個別使用と組み合わせ使用してください。

最新の高性能洗浄剤は、酵素による低アルカリ配合法を使用しています。酵素はデンプンを分解し、タンパク質を溶かします。色しみ（茶渋、ケチャップなど）を取るには、酸素ベースの漂白剤を使用するのが一般的です。

注記：いずれの洗浄剤の場合でも、メーカーの注意に留意してください。

洗浄剤	説明
タブレット	タブレットはすべての洗浄機能に適しており、計量する必要がありません。 "プログラム"→ページ 20を短縮すると、タブレットが場合によっては完全に溶解せず、洗浄剤残存物として残ることがあります。それによって洗浄作用が妨げられる恐れがあります。

洗浄剤	説明
粉末洗浄剤	粉末洗浄剤は、"プログラム"→ページ 20を短縮する場合に推奨されます。 計量することで、汚れ度合に合わせることができます。
液体洗浄剤	液体洗浄剤は、より素早く作用し、予備洗い無しの"プログラム"→ページ 20を短縮した場合に推奨されます。 洗浄剤室を閉じたにもかかわらず、充填した液体洗浄剤が流出することがあります。下記に留意すれば、これは不具合ではなく、問題ではありません： ■ 予備洗い無しのプログラムを選択してください。 ■ プログラムスタートのための時間事前選択は設定しないでください。 計量することで、汚れ度合に合わせることができます。

アドバイス：適切な洗浄剤は、弊社のホームページを通じてオンラインで、または"カスタマーサービス"→ページ 64を通じてご購入いただけます。

ソコ洗浄剤

ソコ洗浄剤は、洗浄剤のほかには他の成分（粉末洗浄剤または液体洗浄剤など）を含まない製品です。
 粉末洗浄剤および液体洗浄剤を使用して、計量することで、汚れ度合に個別に合わせることができます。

より良い洗浄結果および乾燥結果を得るため、かつ装置の損傷を防止するために、「特殊塩」→ ページ 28 および「リンス剤」→ ページ 29 を追加使用してください。

混合洗浄剤

従来のソコ洗浄剤の他に、追加機能を備えた一連の製品も提供されています。これらの製品には、洗浄剤の他にリンス剤および特殊塩代替品（3in1）が含まれることも多く、組み合わせ（4in1、5in1など）によってはガラス保護剤またはステンレス光沢剤といった追加成分が含まれていることもあります。

混合洗浄剤は、メーカー表示によれば、通常、水硬度が21 °dH以下でのみ働きます。水硬度が21 °dHを超えると、特殊塩およびリンス剤を使用する必要があります。最良の洗浄結果および乾燥結果を得るために、水硬度が14 °dH以上では、特殊塩およびリンス剤の使用を推奨します。混合洗浄剤を使用した場合、最適な洗浄結果および乾燥結果が得られるように、洗い流しプログラムは自動的に調整されます。

不適切な洗浄剤

装置損傷または健康被害の原因となる恐れがあるため、洗浄剤は使用しないでください。

洗浄剤	説明
手洗い用洗浄剤	手洗い用洗浄剤は泡の形成を増大させ、装置損傷の原因となる恐れがあります。
塩素含有洗浄剤	食器に付着した塩素残存物は健康被害を引き起こす恐れがあります。

洗浄剤に関する注意事項

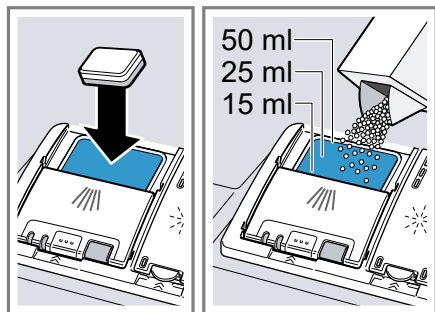
日常の使用時に洗浄剤に関する注意事項に留意してください。

- 「Bio (Bio)」または「Eco (Eco)」マークが付いた洗浄製品は、原則として（環境保護上の理由から）有効成分をわずかしき使用していないか、または特定の含有物質をまったく使用していません。その種の製品の洗浄効果は、限られたものである可能性があります。
- リンス剤装置および軟水化装置をお使いのソコ洗浄剤または混合洗浄剤に設定してください。
- 特殊塩代替品含有洗浄剤は、メーカー指定によれば、特殊塩を追加しないと、特定の水硬度（たいてい °dH 21）以下でしか使用することができません。最良の洗浄結果および乾燥結果を得るために、水硬度が14 °dH以上では、特殊塩およびリンス剤の使用を推奨します。
- 貼り付いてしまうのを防止するため、水溶性カプセルに入った洗浄剤は、乾いた手でつかみ、洗浄剤室が完全に乾燥している場合のみ、その洗浄剤を充填してください。
- リンス剤補充表示および特殊塩補充表示が点灯している場合でも、混合洗浄剤を使用して、洗い流しプログラムを正常に進行させてください。
- リンス剤の機能は、混合洗浄剤を使用する場合、制限されてしまいます。リンス剤の使用すると、大抵の場合はより良い洗浄結果が得られます。
- 特殊な乾燥能力をもつタブレットを使用してください。

洗浄剤を充填する

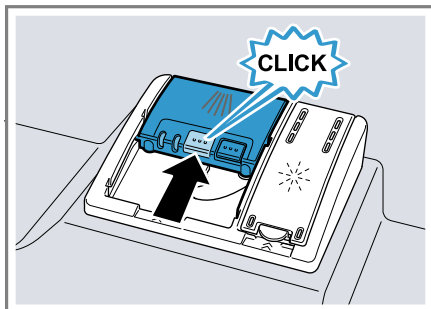
1. 洗浄剤室を開くために、洗浄剤室口ックを押します。

2. 洗浄剤は、乾燥した洗浄剤室に充填します。



タブレットを使用する場合、タブレットは1つで十分です。タブレットを横向きにはめ込みます。粉末洗浄剤または液体洗浄剤を使用する場合は、メーカーの計量上の注意と洗浄剤室の投入量配分に留意してください。通常の汚れ具合であれば、洗浄剤は20 ml～25 mlで十分です。食器の汚れ具合が軽い場合、記載された洗浄剤量よりも若干少なくて済みます。

3. 洗浄剤室の蓋を閉じます。



- ✓ 蓋はカチッと音を立てて閉まります。
- ✓ プログラム進行中、洗浄剤室はプログラムに従って、最適なタイミングで自動的に開きます。粉末洗浄剤または液体洗浄剤は洗浄容器内に広がり、溶解します。タブレットがタブレットトレイの中に落ち、溶解して配分されます。タブレットが均一に溶解するために、タブレットトレイ内に物を置かないでください。

アドバイス：粉末洗浄剤を使用して、予備洗いのあるプログラムを選択する場合、追加で洗浄剤を少し本装置の内部ドアにかけることができます。

食器

洗浄機に適した食器のみを洗浄してください。

注記：上ガラス装飾、アルミ製食器や銀食器は、洗浄の際に退色したり、色あせする傾向があります。傷つきやすいタイプのガラスは、洗浄を繰り返すうちに透明度が低下することがあります。

グラスおよび食器の損傷

メーカーによって洗浄機に適している
と表示されているグラスおよび陶器の
み洗浄してください。グラスおよび食
器の損傷を回避してください。

原因	推奨
下記の食器は洗浄機に適していません： ■ 木製カトラリーおよび食器 ■ 装飾ガラス食器、アートおよびアンティーク食器 ■ 非耐熱性プラスチック製食器 ■ 銅および鍍金製食器 ■ 灰、ワックス、グリースおよび塗料で汚れた食器 ■ 極めて小さな食器	メーカーによって洗浄機に適していると表示されている食器のみ洗浄してください。
洗剤の化学成分が損傷の原因となります。	メーカーにより食器を傷めないと表示されている洗剤を使用してください。
特に業務用または産業用の強刺激アルカリ性 / 強酸性洗剤は、アルミニウムに関して洗浄機に適していません。	特に業務用または産業用の強刺激アルカリ性または強酸性の洗剤をお使いになる場合は、本装置の洗浄庫にアルミニウム製のものを入れないでください

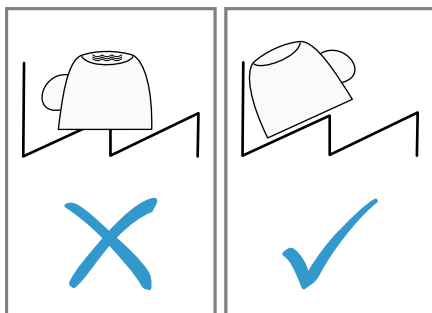
原因	推奨
プログラムの水温が高すぎます。	低温のプログラムを選択してください。 プログラム終了後、ただちにグラスおよびカトラリーを本装置から取り出してください。

食器を収納する

食器を正しく入れて、洗浄効果を高め、食器と食器洗浄機が損傷しないようにします。

アドバイス

- 本食器洗浄機を使用することにより、手洗いに比べて、省エネと節水効果が得られます。
- お使いの装置に効率的に収納することにより、いかに省コストできるかの例は、弊社ホームページをご覧ください。
- 省エネと節水のため、位置設定が指定する数量（標準収納量）まで食器を食器洗浄機に入れてください。
→ "技術仕様", ページ 65
- 洗浄/乾燥効果を高めるため、出っ張りやくぼみのある食器は、水が切れるように斜めに立てかけてください。

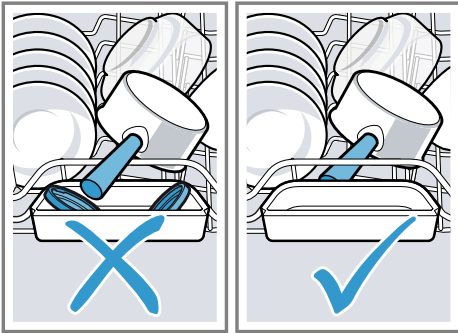


1. 大きな残滓を食器から取り除きます。

資源節約のため、流水による食器の予備洗いはしないでください。

2. 食器を入れるときは、下記に注意してください：

- 鍋などの汚れのひどい食器は下段食器バスケットに収納してください。その方が噴射の勢いが強いので、良い洗浄結果が得られます。
- 壊れないように、食器は安全かつ安定した位置に入れてください。
- けがをしないように、ナイフやフォークは、常に先端や刃の側を下向きに入れてください。
- 食器は水がたまらないように、口の開いた部分を下向きに入れてください。
- スプレーアームの回転を妨げないようにしてください。
- タブレットトレイに小さなものを入れないでください。洗浄剤室の蓋の邪魔にならないように、食器でタブレットトレイをふさがないようにしてください。



食器を取り出す

⚠ 警告 負傷の危険!

熱を持った食器は、皮膚を火傷する原因となる恐れがあります。熱を持った食器は、衝撃に敏感で、破損や負傷の原因となる恐れがあります。

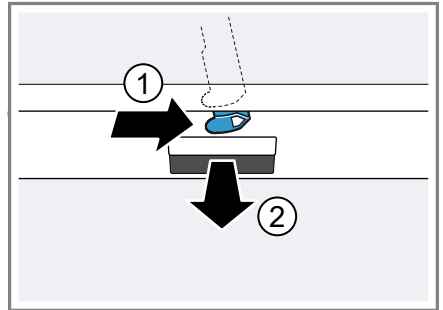
- ▶ 食器は、プログラム終了後に少し冷却ささせてから、取り出してください。

1. 食器の上に水滴が落下するのを防止するために、食器を下から上に取り出します。
2. 洗浄容器および付属品に汚れがないか点検し、必要に応じて洗浄します。
→ "洗浄とメンテナンス", ページ 42

基本操作

装置のドアを開く

1. チャイルドロックが有効になっていない場合、本装置のドアを開きます。
2. チャイルドロックが有効担っている場合、チャイルドロックのラッチを右へ押し ①、本装置のドアを開きます ②。



装置のスイッチをオンにする

- ▶ ① を押します。
標準プログラムがあらかじめ設定されています。
本装置を10分間操作しないでいると、本装置のスイッチが自動的にオフになります。

プログラムを設定する

洗浄プロセスを食器の汚れに合わせるために、適切なプログラムを設定してください。

- ▶ 適切なプログラムボタンを押します。
→ "プログラム", ページ 20
- ✓ プログラムが設定され、プログラムボタンが点滅します。
- ✓ 残っているプログラム所要時間がディスプレイに表示されます。

追加機能を設定する

洗い流しプログラムを追加するために、追加機能を設定することができます。

注記：切替え可能な追加機能は、選択したプログラムによって左右されます。

→ "プログラム", ページ 20

- ▶ 適切な追加機能のボタンを押します。
→ "追加機能", ページ 22
- ✓ 追加機能が設定され、追加機能ボタンが点滅します。

時間事前選択を設定する

プログラム開始を最長24時間先送りできます。

1. 一⓪または十⓪を押します。
✓ ディスプレイに"00h:01m"が表示されます。
2. 一⓪または十⓪により希望のプログラムスタートを設定します。
3. Start を押します。
✓ 時間事前選択が有効になりました。

アドバイス：ディスプレイに"00h:00m"が表示されるまで、一⓪または十⓪を押すことによって、時間事前選択を無効にしてください。

プログラムをスタートする

- ▶ Start を押します。
- ✓ ディスプレイに"00h:00m"が表示されると、プログラムが終了します。

注記

- 作動中に食器をまた入れたい場合、タブレットトレイを上段バスケットのハンドルとして使用しないでください。溶解しかけたタブレットに接触する恐れがあります。
- 進行中のプログラムを切り替えることが可能なのは、プログラムを中断する場合のみです。
→ "プログラムを中断する", ページ 37
- 省エネのために、本装置はプログラム終了から1分後に自動的にスイッチがオフになります。プログラムの終了直後にドアを開けると、本装置は4秒後にスイッチがオフになります。

ボタンロックを有効にする

ボタンロックは、本装置が作動中に、望まないまたは不適切な操作を防止します。

- ▶  を約3秒間押します。
- ✓ ボタンロックが有効になり、プログラム終了と同時に自動的に無効になります。
- ✓ 装置が作動すると、ディスプレイに"CL"が表示されます。
- ✓ 停電の場合、ボタンロックは有効性が維持されます。

ボタンロックを無効にする

- ▶  を約3秒間押します。

プログラムを中止する

注記：装置加熱の際に本装置のドアを開く場合は、まず数分間、本装置のドアを少しだけ開けておき、その後に関

じます。それによって、本装置内に過圧が形成され本装置のドアが急に開くことを回避します。

1. ①を押します。
- ✓ プログラムが保存され、本装置のスイッチがオフになります。
2. プログラムを続行するには、①を押します。

プログラムを中断する

プログラムを早めに終了したり、スタートしたプログラムを切り替えるには、このプログラムを中断する必要があります。

- ▶ Reset 4 sec. を約4秒間押します。
- ✓ すべての表示が点灯します。
- ✓ それらの表示が消えたら、ただちにディスプレイに"00h:01m"が表示され、残っている水が排出されます。
- ✓ プログラムは中断され、約1分後、終了します。

装置のスイッチをオフにする

1. "安全な使用" → ページ 11 に関する注意に留意します。
2. ①を押します。

アドバイス： 洗浄プロセス中に ① を押すと、進行中のプログラムが中止されます。本装置のスイッチをオンにすると、プログラムは自動的に続行されます。

基本設定

機器の基本設定は二ーズに合わせて設定できます。

基本設定の概要

基本設定は、お使いの装置の仕様によって異なります。

基本設定	ディスプレイテキスト	選択	説明
水の硬度	H:04 ¹	H:00 - H:07	軟水化装置で、水の硬度を設定します。 → "軟水化装置を設定する", ページ128 レベルH:00では、軟水化装置がオフになります。
リンス剤使用	r:04 ¹	r:00 - r:06	リンス剤使用量を設定する。 → "リンス剤使用量を設定する", ページ130 r:00ステージによって、リンス剤装置のスイッチをオフにします。
センサー設定	SE:00 ¹	SE:00 - SE:02	汚れ検知の水センサーの設定。 → "センサー", ページ113
特別乾燥	d:00 ¹	d:00 - d:01	すすぎ洗い時には温度が上昇し、それによってより良好な乾燥結果が達成されます。その場合、所要時間が若干長くなることがあります。 注記：傷つきやすい食器には適していません。 特別乾燥をスイッチオン "d:01" またはスイッチオフに します "d:00"。

¹ 初期設定 (装置の型式により異なることがあります)

基本設定	ディスプレイテキスト	選択	説明
温水	A:00 ¹	A:00 - A:01	冷水接続または温水接続を設定します。本装置は、温水が適切に熱エネルギー処理し、適切な設置（循環ライン付き太陽光システムなど）が試用できる場合に限り、温水に設定することができます。水温は最低40℃～最高60℃が推奨されます。 温水のスイッチをオンにする"A:01"か、またはオフにします"A:00"。
スタートプログラム	SP:01 ¹	SP:00 - SP:01	装置をスイッチオンにする際、事前定義されたプログラムを設定。 ■ 設定 "SP:00" の場合、装置をスイッチオンにする際に最後に選択されたプログラムがあらかじめ設定されています。 ■ 設定 "SP:01" の場合、装置をスイッチオンにする際に標準プログラムがあらかじめ設定されています。
シグナルトーンの音量	SL:02 ¹	SL:00 - SL:03	シグナルトーンの音量の調整。 ステージ "SL:00" が、シグナル音をスイッチオフにします。
ボタン音レベル	bL:02 ¹	bL:00 - bL:03	操作する際に、ボタン音レベルを設定します。ステージ "bL:00" がボタン音をスイッチオフにします。
Wi-Fi	Cn:00	Cn:00 - Cn:01	無線ネットワーク接続のスイッチをオン / オフにします。 "Cn:00"段階によって、ワイヤレスネットワーク接続のスイッチがオフになります。 基本設定「Wi-Fi」は、装置が Home Connectアプリと接続された後に初めて利用可能になります。 → "Home Connect", ページ40

¹ 初期設定（装置の型式により異なることがあります）

基本設定	ディスプレイテキスト	選択	説明
Remote Start	rc:01	rc:00 - rc:02	→ "Remote Start" , ページ 42 を有効 / 無効にします。可能な設定は、以下の通りです： ■ "rc:00"設定の場合、この機能は常時無効になります。 ■ "rc:01"設定の場合、この機能は  ボタンによって追加選択ができるようになります。 → "Remote Start"  を有効にする", ページ 42 ■ "rc:02"設定の場合、この機能は常時有効になります。 この基本設定は、装置が Home Connect アプリと接続された後に初めて利用可能になります。 → "Home Connect", ページ 40
初期設定	rE:	十でスタートする Y:ES 十で確定する	変更した設定を初期設定にリセットします。 初回運転開始の設定を行う必要があります。

¹ 初期設定 (装置の型式により異なることがあります)

基本設定を変更する

1.  を押します。
2. Setup 3 sec. を3秒間押すと、基本設定が表示されます。
 - ✓ ディスプレイに H:xx が表示されます。
 - ✓ ディスプレイに **sel** が表示されます。
3. ディスプレイに希望の設定が表示されるまで、Setup 3 sec. を何度も押します。
4. 一または 十 を、ディスプレイに適切な値が表示されるまで何度も押します。

何度も設定を変更することができません。
5. Setup 3 sec. ボタンを3秒間押すと、設定内容が保存されます。

Home Connect

本装置はネットワーク対応です。お使いの装置を携帯端末に接続して、Home Connect アプリにより機能进行操作してください。

Home Connect サービスは、ご利用いただけない国があります。

Home Connect 機能がご利用いただけるかどうかは、お客様の国で Home Connect サービスがご利用いただけるかどうかによります。これに関する詳細については、www.home-connect.comをご覧ください。

Home Connectをご利用になるには、最初にWLANホームネットワーク（Wi-Fi¹）およびHome Connectアプリへの接続を確立してください。

- → "装置をWLANホームネットワーク（Wi-Fi）に接続する", ページ 41

Home Connectアプリは、ログインプロセス全体を通してお客様をご案内します。Home Connectアプリの指示に従って、設定を行ってください。

アドバイス

- Home Connectの添付資料をご覧ください。
- また、Home Connectアプリに表示される注意事項も守ってください。

注記：本取扱説明書の安全上の注意に留意し、本装置をHome Connectアプリから操作する場合、在宅していないときでも、これらの注意事項を必ず守ってください。

→ "安全性", ページ 4

Home Connectクイックスタート

お使いの装置を素早く簡単に携帯端末に接続します。

アプリを設定する

1. お使いの携帯端末にそのHome Connectアプリをインストールします。



2. Home Connectアプリをスタートさせ、Home Connectへのアクセスを設定します。

Home Connectアプリは、ログインプロセス全体を通してお客様をご案内します。

装置をWLANホームネットワーク（Wi-Fi）に接続する

必要条件

- Home Connectアプリが携帯端末にインストールされています。
- ルーターのWi-Fiが有効になっています。
- 本装置は、据付け場所でWLANホームネットワーク（Wi-Fi）への接続が可能です。
- 装置ドアは閉じています。

1. Home Connectアプリを使用して、QRコードをスキャンします。



2. Home Connectアプリの指示に従います。

Home Connect設定

Home Connectをお客様のニーズに合わせてください。

お使いの装置の基本設定の

Home Connect設定をご覧ください。

ディスプレイに表示される設定は、Home Connectが設置されているか、および本装置がホームネットワークに接続されているかによって異なります。

¹ Wi-FiはWi-Fi アライアンスの登録商標です。

Remote Start

Home Connectアプリによって、お使いの携帯端末を使用して本装置をスタートすることができます。

アドバイス： この機能の"基本設定" → ページ 40 で"rc:02"を設定する場合、この機能が常時有効になっており、お使いの装置をいつでも携帯端末を使用してスタートすることができます。

Remote Start を有効にする

この機能の基本設定で"rc:01"を設定した場合、お使いの装置でこの機能を有効にしてください。

必要条件

- 本装置はWLANホームネットワークに接続されています。
- 本装置はHome Connectアプリに接続されています。
- この機能の"基本設定" → ページ 40 で"rc:01"が設定されています。
- プログラムが選択されています。

▶ を押します。

本装置のドアを開くと、機能が自動的に無効になります。

✓ ボタンが点灯します。

アドバイス： 機能を無効にするには、

を押します。

ソフトウェアアップデート

この機能によって、お使いの装置のソフトウェアをアップデートすることができます（最適化、トラブルシューティング、セキュリティ関連アップデートなどのため）。

Home Connectアプリは、利用可能なソフトウェアアップデートを通知します。

個人情報保護

個人情報保護に関する注意に留意してください。

お使いの装置がインターネットに接続されたホームネットワークに初めてアクセスする際に、次のカテゴリーの情報がHome Connectサーバーに伝達されます（初回登録）：

- 一意な装置識別（装置キーおよびビルトインのWi-Fi通信モジュールのMACアドレスから生成）。
- Wi-Fi通信モジュールのセキュリティ証明書（接続の情報技術的な予備のため）。
- お使いの家電の現在のソフトウェアバージョンおよびハードウェアバージョン。
- 場合によっては以前に行われた初期設定の状態。

この初回登録はHome Connect機能の使用を準備しますので、Home Connect機能を最初に使う時に初めて必要になります。

注記： Home Connect機能はHome Connectアプリと連携してのみ使えるので、ご注意ください。個人情報保護に関する情報はHome Connectアプリ内で呼び出すことができます。

洗淨とメンテナンス

装置を長くお使いいただけるように、慎重に洗淨とメンテナンスを行ってください。

洗淨容器を洗淨する

警告

健康に対する損傷の危険！

塩素を含んだ洗淨剤を使用すると、健康障害を引き起こす恐れがあります。

▶ 塩素含有洗淨剤を絶対に使用しないでください。

1. 内部の大きな汚れを湿らせた布で除去します。
2. 洗浄剤室に洗浄剤を充填します。
3. 温度が最も高いプログラムを選択します。
→ "プログラム", ページ 20
4. "プログラムを食器を入れない状態でスタートします。" → ページ 36

洗浄剤

装置の洗浄に適した洗浄剤のみを使用してください。

→ "安全な使用", ページ 11

アドバイス： 食器洗浄機用の試験・承認済みの機械お手入れ剤および洗浄剤については、ホームページ<https://www.bosch-home.com/store>を参照されるか、カスタマーサービスにお問い合わせください。

装置のお手入れ

食物の残りや石灰分などによる沈積は、お使いの装置の故障原因となる恐れがあります。故障を防止し、臭気発生を軽減するために、本装置を定期的に洗浄してください。

装置のお手入れは、お使いの装置のお手入れは、装置お手入れ剤および装置クリーナーと組み合わせた、お使いの食器洗浄機をお手入れするために適したプログラムです。

段階	以下の除去：	洗浄剤	配置
1	油脂分と石灰分	液体装置お手入れ剤または粉末機械脱灰剤。	装置内部、例えばカトラリーバスケット内に掛けたボトルや室内の粉末。
2	食物の残存物と沈積物	装置クリーナー	洗浄剤室

最適な洗浄能力のために、プログラムは、該当する洗浄段階別に相互に洗浄剤を仕分けます。そのために、洗浄剤の適切な配置が必要です。

装置のお手入れに関するヒント

お使いの装置の機能を常時維持するために、装置のお手入れに関するヒントに留意してください。

措置	長所
ドアのパッキン、食器洗浄機のフロントおよびコントロールパネルは、湿らせた布と洗浄剤などで定期的に拭いてください。	装置部品を清潔かつ衛生的に保ちます。
持続時間が長くなる場合は、本装置のドアを持たせかけた状態にします。	不快な臭気発生を防止します。

アドバイス： 食器洗浄機用の試験・承認済みの機械お手入れ剤および洗浄剤については、ホームページ<https://www.bosch-home.com/store>を参照されるか、カスタマーサービスにお問い合わせください。

装置のお手入れは、洗浄プロセス中に沈積物を除去するプログラムです。洗浄は二段階で行われます：

コントロールパネルの装置のお手入れ用表示が点灯したか、またはそのためにディスプレイに通知が表示された場合、食器なしで装置のお手入れを実施します。装置のお手入れが終了すると、表示が消えます。お使いの装置に

記憶機能が備わっていない場合、装置のお手入れを2ヶ月毎に実施することを推奨します。

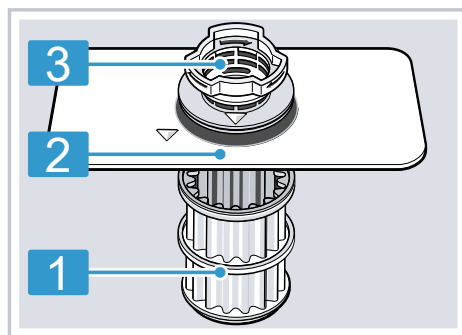
装置のお手入れを実施する

注記

- 食器を収納していない状態でプログラム装置のお手入れを実施します。
 - 食器洗浄機専用の装置お手入れ剤および装置クリーナーのみを使用してください。
 - 本装置の洗浄庫にエクストラクターフードのグリースフィルターやアルミニウム鍋などのアルミニウム部品がないか注意してください。
 - 3回洗浄後に装置のお手入れを実施しなかった場合、装置のお手入れの表示が自動的に消えます。
 - 最適な洗浄能力を維持するために、洗浄剤が正しく配置されているか注意してください。
 - 装置お手入れ剤および装置クリーナーのパッケージに記載されている安全上の注意および使用上の注意を守ってください。
1. 内部の大きな汚れを湿らせた布で除去します。
 2. フィルターを洗浄します。
 3. 本装置の室内に装置お手入れ剤を配置します。
食器洗浄機専用の装置お手入れ剤を使用してください。
 4. 装置クリーナーを洗浄剤室に一杯になるまで充填します。
本装置の室内には装置クリーナーを充填しないでください。
 5.  を押します。
 6. Start を押します。
✓ 装置のお手入れを実施します。
✓ プログラムが終了すると、装置のお手入れの表示が消えます。

フィルターシステム

フィルターシステムは洗浄回路から粗い汚れを取り除きます。

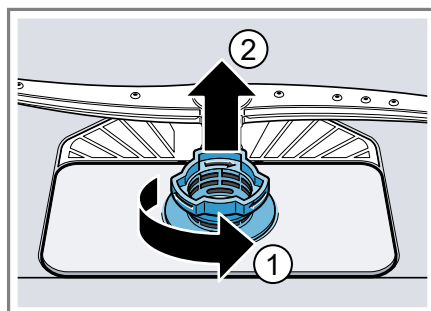


- | | |
|---|-----------|
| 1 | マイクロフィルター |
| 2 | 細フィルター |
| 3 | マクロフィルター |

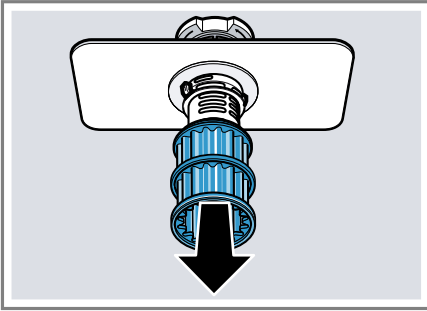
フィルターを洗浄する

すすぎ水からの汚れがフィルターを詰まらせることがあります。

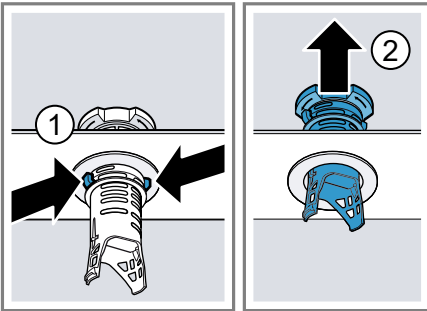
1. 洗浄のたびにフィルターに残存物がないか点検してください。
2. マクロフィルターを反時計回りに回転させ ①、フィルターシステムを取り外します ②。
- ポンプパンに異物が落ちていないか注意してください。



3. マイクロフィルターを下方へ引き抜きます。



4. キャッチタペットを押し込み ①、マクロフィルターを上方へ取り外します ②。



5. 流水でフィルターエレメントを洗浄します。

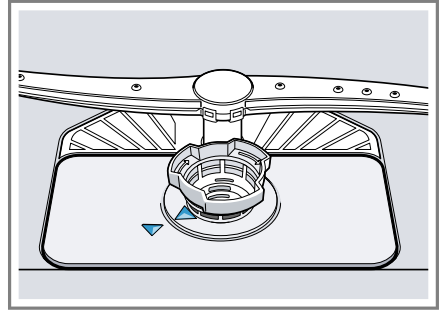
マクロフィルターと細フィルターの間の汚れの縁を丁寧に洗浄します。

6. フィルターシステムを組み立てます。

マクロフィルターのキャッチタペットがかみ合っているか注意してください。

7. フィルターシステムを本装置に取り付け、マクロフィルターを時計回りに回転させます。

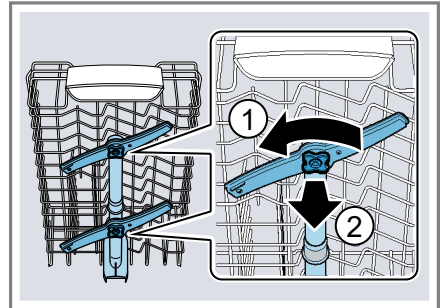
– 矢印マークが向かい合っているか確認してください。



スプレーアームを洗浄する

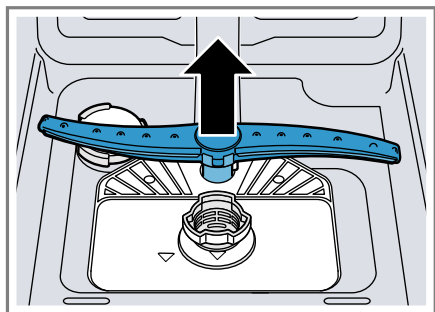
石灰分やすすぎ水からの汚れがスプレーアームのノズルおよびベアリングの動きを妨げることがあります。スプレーアームを定期的に洗浄してください。

1. 上段スプレーアームのねじを外し ①、下方へ引きます ②。



ja 洗浄とメンテナンス

2. 下段スプレーアームを上方へ引きま
す。



3. 水を流しながら、スプレーアームの
アウトレットノズルが詰まっていな
いか点検し、必要に応じて異物を除
去します。
4. 下段スプレーアームを取り付けま
す。
- ✓ スプレーアームはカチッと音を立て
てはまります。
5. 上段スプレーアームを取り付け、し
っかりとねじ止めします。

故障を修理する

装置の小さな故障は、ご自分で修理することができます。カスタマーサービスに連絡する前に、故障修理に関する情報をご覧ください。それにより不要なコストを回避できます。

警告 電磁場の危険!

不適切な修理は危険です。

- ▶ 専門訓練を受けた専門技術者のみが本装置の修理を行うことができます。
- ▶ 本装置を修理する際は、必ず純正交換部品を使用してください。
- ▶ 本装置の電源接続配線が損傷している場合、メーカーまたはそのカスタマーサービスから入手した専用の接続配線と交換する必要があります。

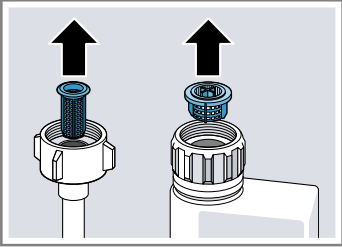
装置の安全性

エラー	原因	故障かなと思ったら
装置のドアが開かない、または開けにくい。	チャイルドロックが有効になっている。	▶ "装置のドアを開く。"→ ページ ¹³⁵

エラーコード/エラー表示/信号

エラー	原因	故障かなと思ったら
「E:20-60」が交互に点灯する。	装置がヒーターへの石灰分付着を検出。	1. 本装置の石灰分を取り除いてください。 2. 本装置を軟水化装置と共に作動させます。¹
「E:21-30」が交互に点灯する。	ゼオライト容器の吸込み口が食器によって塞がれています。	▶ 食器ピースを本装置に収納することによって、"ゼオライト容器の吸込み口"→ ページ ¹¹⁶ が開かれた状態にします。
「E:30-00」が交互に点灯する。	水保護システムが有効になっている。	1. 給水栓を閉めてください。 2. "カスタマーサービス"→ ページ¹⁶⁴に連絡してください。
「E:31-00」が交互に点灯する。	水保護システムが有効になっている。	1. 給水栓を閉めてください。 2. "カスタマーサービス"→ ページ¹⁶⁴に連絡してください。

¹ 装置の仕様により異なる

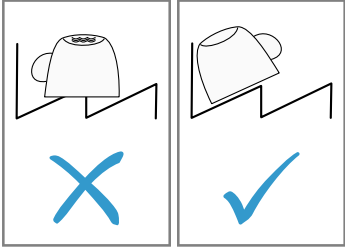
エラー	原因	故障かなと思ったら
「E:32-00」が交互に点灯するか、または水流入のディスプレイが点灯する。	給水ホースが折れ曲がっている。	▶ 給水ホースを折れ曲がらないように配置してください。
	給水栓が閉まっている。	▶ 給水栓を開けてください。
	給水栓が固着している、または石灰分が詰まっている。	▶ 給水栓を開けてください。 流量は、給水栓を開けた状態で10 l/分以上が必要です。
	給水またはAquaStopホースの水接続部のフィルターが詰まっている。	1. 本装置のスイッチをオフにしてください。 2. 電源プラグを引き抜いてください。 3. 給水栓を回して閉めてください。 4. 水接続部を外してください。 5. 給水ホースからフィルターを取り外してください。
		 6. フィルターを清掃してください。 7. 給水ホースにフィルターを取り付けてください。 8. 水接続部を接続してください。 9. 水接続部に漏れがないか点検してください。 10. 電源を接続してください。 11. 本装置のスイッチをオンにしてください。
「E:34-00」が交互に点灯する。	水が本装置に常時流れる。	1. 給水栓を閉めてください。 2. "カスタマーサービス" → ページ164に連絡してください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
「E:61-02」が交互に点灯する。	排水ポンプが故障している。	▶ 排水ポンプを洗浄してください。 → "排水ポンプを洗浄する", ページ63
	排水ポンプのカバーが緩んでいる。	▶ "排水ポンプ" → ページ63のカバーをはめ込みます。
「E:61-03」が交互に点灯する。水が排水されない。	排水ホースが詰まっている、または折れ曲がっている。	1. 排水ホースを、折れ曲がないように取り回してください。 2. 残存物を除去してください。
	吸上げ管接続部がまだ閉じている。	▶ 吸上げ管の接続部を点検し、必要があれば開きます。
	排水ポンプのカバーが緩んでいる。	▶ "排水ポンプ" → ページ63のカバーをはめ込みます。
「E:90-01」が交互に点灯する。	電源の電圧が低すぎる。	装置の故障ではありません。
		1. 電気技師を呼んでください。 2. 電気技師に電源の電圧および電気系統の点検してもらってください。
「E:92-40」が交互に点灯する。	フィルターが汚れている、または詰まっている。	▶ フィルターを洗浄してください。 → "フィルターを洗浄する", ページ44

エラー	原因	故障かなと思ったら
表示窓に別のエラーコードが表示される。 「E:01-00 ~ E:90-10」	技術的故障がある。	1. ①を押してください。 2. 本装置の電源プラグを引き抜くか、またはブレーカーを切ってください。 3. 少なくとも2分間待ってください。 4. 本装置の電源プラグをソケットに差し込むか、またはブレーカーを入れます。 5. 本装置のスイッチをオンにしてください。 6. 不具合が再発する場合： - ①を押してください。 - 給水栓を閉めてください。 - 電源プラグを引き抜いてください。 - "カスタマーサービス" → ページ164に電話し、エラーコードを伝えてください。

洗浄結果

エラー	原因	故障かなと思ったら
食器が乾いていない。	リンス剤を使用しなかったか、または計量の設定が低すぎた。 プログラムまたはプログラムオプションの乾燥段階がないか、または短すぎる。	1. "リンス剤" → ページ129を補充してください。 2. リンス剤使用量を設定してください。 → "リンス剤使用量を設定する", ページ130 ▶ "乾燥付きのプログラム (強力洗浄、強力またはエコプログラムなど) を選択してください。" → ページ120 オプションボタンによっては乾燥結果が抑制されます (バリオスピードなど)。

エラー	原因	故障かなと思ったら
食器が乾いていない。	食器またはカトラリーの窪みに水が集まる。	▶ 食器はできる限り斜めに収納してください。 
	複合洗剤剤を使用すると乾燥能力が低下します。	1. リンス剤を使用すると、乾燥能力を向上できます。 2. 乾燥能力のより高い別の混合洗剤剤を使用してください。
	乾燥レベルを引き上げるための特別乾燥が無効になっていた。	▶ 特別乾燥を有効にしてください。
	食器を取り出すのが早すぎた。または乾燥プロセスがまだ終了していなかった。	1. プログラム終了を待ってください。 2. プログラム終了後30分経ってから食器を取り出します。
	エコリンス剤の使用によって乾燥能力が抑制された。	▶ 一般的なブランドのリンス剤を使用してください。 エコ製品では、有効性が制限されていることがあります。
プラスチック製食器が乾いていない。	故障なし。プラスチックは保温力が低いことにより、乾きが良くありません。	▶ 修理できません。
カトラリーが乾いていない。	カトラリーバスケットまたはカトラリートレイの中でのカトラリー分類が不適切だった。	カトラリーの設置場所に水滴が形成される。 1. "カトラリーは、できれば離して個別に収納してください。" → ページ134 2. 固まって配置することを避けてください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
洗浄プロセス後、装置内部が濡れている。	故障なし。凝縮乾燥の乾燥原理により、容器内に水滴ができるのは物理的にやむをえないことであり、望ましい。大気中の湿気が本装置の内壁で結露し、流れ落ち、排出される。	処置は不要です。
食器に食べ物の残りが付着している。	食器を収納した際、間隔が狭すぎた。食器バスケットに詰め込みすぎた。	1. スペースを十分空けて、食器を収納してください。 水噴射が食器表面に達するように食器を収納してください。 2. 固まって配置することを避けてください。
	スプレーアームの回転が妨げられている。	▶ スプレーアームの回転が妨げられないように食器を収納してください。
	スプレーアームノズルが詰まっている。	▶ "スプレーアーム" → ページ45を洗浄してください。
	フィルターが汚れている。	▶ フィルターを洗浄してください。 → "フィルターを洗浄する", ページ44
	フィルターが誤って取り付けられている、または、ロックされていない。もしくはその両方。	1. フィルターを正しく取り付けてください。 → "フィルターシステム", ページ44 2. フィルターをロックしてください。
	選んだ洗い流しプログラムが弱すぎる。	▶ より強力な洗い流しプログラムを選択してください。 → "プログラム", ページ20 ▶ センサーの感度を調整してください。 → "センサー", ページ13
	食器の予備洗いが強力すぎる。センサーによって弱いプログラム進行に決定される。こび	▶ 目につく食べ物の残りを食器から取り除くだけで、食器を予備洗いしないでください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
食器に食べ物の残りが付着している。	りついた汚れを部分的に落とすことができない。	▶ センサーの感度を調整してください。 → "センサー", ページ13
	背が高く細い容器が、コーナー部分で十分に洗浄されない。	▶ 背が高く細い容器は、あまり斜めにせず、コーナー部分に配置しないでください。
	上段食器バスケットの高さが左右で均などではない。	▶ 上段食器バスケットの高さを左右で均などに設定します。
本装置内の洗浄剤の残り	洗浄剤室の蓋が食器ピースによって妨げられていて開かない。	1. 食器は上段食器バスケットに、タブレットトレイが食器によってロックされないように収納してください。 → "食器を収納する", ページ34 食器ピースが洗浄剤蓋の邪魔になる。 2. 食器ピースまたは芳香剤容器をタブレットトレイに配置しないでください。
	洗浄剤室の蓋がタブレットによって妨げられていて開かない。	▶ タブレットは、洗浄剤室に立てずに横向きにはめ込んでください。
	タブレットは、クイック洗浄またはショートプログラムで使わず。タブレットの溶解時間が十分でない。	▶ より強力な"プログラム" → ページ20を選択するか、または"粉末洗浄剤" → ページ31を使用してください。
	保管期間が長くなると洗浄効果が低下したり溶解しにくくなるが、または洗浄剤が固まってしまう。	▶ "洗浄剤" → ページ31を変更してください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
プラスチックピースの上に水垢が残っている。	プラスチック表面での水滴の形成は、物理的に避けられません。乾燥後、水垢が目立つ。	▶ より強力なプログラムを選択する。 → "プログラム", ページ120 ▶ 食器を斜めに収納してください。 → "食器を収納する", ページ134 ▶ リンス剤を使用してください。 → "リンス剤", ページ129 ▶ 軟水化装置をより高く設定してください。
装置内部またはドアに、拭き取れる、または水で落とせる曇りができる。	洗浄剤の成分が沈積している。この曇りは、ほとんどの場合、化学的には落とせない。	▶ "洗浄剤" → ページ131を変更してください。 ▶ 装置を物理的に洗浄洗浄してください。
	装置内部に白い曇りが層をなす。	1. 軟水化装置を正しく設定してください。 大抵の場合、設定を引き上げる必要があります。 2. 必要に応じて洗浄剤を変更してください。
	特殊塩容器の蓋が閉められていない。	▶ 特殊塩容器の蓋を閉めてください。
白い、落ちにくい曇りが食器、装置内部、またはドアにできる。	洗浄剤の成分が沈積している。この曇りは、ほとんどの場合、化学的には落とせない。	▶ "洗浄剤" → ページ131を変更してください。 ▶ 装置を物理的に洗浄洗浄してください。
	硬度領域の設定が間違っている、または水硬度が50 °dH (8,9 mmol/l) を超えている。	▶ 軟水化装置の水硬度を設定するか、または特殊塩を補充してください。
	3 in 1 洗浄剤または工口洗浄剤が十分な効果を発揮していない。	▶ 軟水化装置の水硬度を設定し、適切な手段 (ブランド洗浄剤、特殊塩、リンス) を使用してください。
	洗浄剤の投入量が少ない。	▶ 洗浄剤投入量を増やすか、または"洗浄剤" → ページ131を変更してください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
白い、落ちにくい曇りが食器、装置内部、またはドアにできる。	選んだ洗い流しプログラムが弱すぎる。	▶ より強力な洗い流しプログラムを選択してください。 → "プログラム", ページ120 ▶ センサーの感度を調整してください。 → "センサー", ページ113
食器に茶渋や口紅の痕が残る。	洗浄温度が低すぎる。	▶ 洗浄温度がより高いプログラムを選択してください。 → "プログラム", ページ120
	洗浄剤の投入量が少ないか、または不適切である。	▶ 適切な"洗浄剤" → ページ131を使用し、メーカー表示に従って投入してください。
	食器の予備洗いが強力すぎる。センサーによって弱いプログラム進行に決定される。こびりついた汚れを部分的に落とすことができない。	▶ 目につく食べ物の残りを食器から取り除くだけで、食器を予備洗いしないでください。 ▶ センサーの感度を調整してください。 → "センサー", ページ113
色（ブルー、イエロー、ブラウン）の付いた、落ちにくい、あるいは落ちない曇りが装置内部またはステンレス食器に残る。	野菜の成分（キャベツ、セロリ、ジャガイモ、ヌードルなど）または水道水の成分（マンガン）による層形成が発生する。	▶ 本装置を洗浄してください。 "物理的洗浄" → ページ142または装置クリーナーにより曇りを除去することができます。曇りは、完全に除去できないことがあります。が、健康上は問題ありません。
	銀またはアルミニウム製の食器に、金属成分による層ができる。	▶ 本装置を洗浄してください。 "物理的洗浄" → ページ142または装置クリーナーにより曇りを除去することができます。曇りは、完全に除去できないことがあります。が、健康上は問題ありません。

エラー	原因	故障かなと思ったら
色（イエロー、オレンジ、ブラウン）の付いた、簡単に落とせる沈積が装置内部（主に底領域）にある。	食べ物の残りの成分または水道水の成分（石灰分）による「石鹸のような」層形成が発生する。	1. 軟水化装置の設定を点検してください。 2. 特殊塩を充填してください。 → "特殊塩を充填する", ページ128 3. 混合洗浄剤（タブレット）を使用する場合、軟水化装置を有効にしてください。 洗浄剤に関する注意に留意してください。 → "洗浄剤に関する注意事項", ページ132
装置内部のプラスチックパーツが変色している。	内部のプラスチックパーツは、食器洗浄機使用期間中に変色することがある。	▶ 変色が発生することがありますが、本装置の機能には影響を与えません。
プラスチックパーツが変色している。	洗浄温度が低すぎる。	▶ 洗浄温度がより高いプログラムを選択してください。 → "プログラム", ページ120
	食器の予備洗いが強力すぎる。センサーによって弱いプログラム進行に決定される。こびりついた汚れを部分的に落とすことができない。	▶ 目につく食べ物の残りを食器から取り除くだけで、食器を予備洗いしないでください。 ▶ センサーの感度を調整してください。 → "センサー", ページ113
グラス、メタリックデザインのグラス、およびカトラリーの表面に条痕がある。	リンス剤使用量の設定が高すぎる。	▶ リンス剤装置を低い段階に設定してください。
	リンス剤が充填されていない。	▶ → "リンス剤を充填する", ページ129
	すすぎ洗いのプログラム段階で洗浄剤の残りが残ります。洗浄剤室の蓋が食器によって妨げられて、完全に開かなかった。	1. 食器は上段食器バスケットに、タブレットトレイが食器によってロックされないように収納してください。 → "食器を収納する", ページ134 食器ピースが洗浄剤蓋の邪魔になる。 2. 食器ピースまたは芳香剤容器をタブレットトレイに配置しないでください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
グラス、メタリックデザイン のグラス、およびカトラリー の表面に条痕がある。	食器の予備洗いが強力すぎる。 センサーによって弱いプログラム進行に決定される。 こびりついた汚れを部分的に落とすことができない。	▶ 目につく食べ物の残りを食器から取り除くだけで、食器を予備洗いしないでください。 ▶ センサーの感度を調整してください。 → "センサー", ページ13
元に戻らないグラスの曇り。	グラスが食器洗浄機で 使用できるといっただけで、 食器洗浄機への耐性がない。	▶ 食器洗浄機に耐性のあるグラスを使用してください。 グラスは大抵、洗浄機に適しています。つまり、長時間摩耗または長時間劣化を考慮に入れる必要がありません。 ▶ 蒸気にさらされる段階（すぎプロセス終了後の持続時間）が長くないようにしてください。 ▶ より低い温度のプログラムを使用してください。 → "プログラム", ページ20 ▶ 軟水化装置を水硬度に設定してください。 ▶ ガラス保護成分を含む洗浄剤を使用してください。
カトラリーに錆の痕跡 ができる。	カトラリーの錆への耐性が不十分である。 ナイフの刃が何度も強くぶつかった。	▶ 錆への耐性があるカトラリーを使用してください。
	カトラリーは、錆びるものと一緒に洗浄しても錆が出る。	▶ 錆びるものを洗浄しないでください。
	すぎ水の塩含有量が 高すぎる。	1. 洗浄容器からこぼれた特殊塩を除去してください。 2. 特殊塩容器の栓をしっかり閉めます。
洗浄剤が、洗浄剤室または タブレットトレイの中に残っている。	スプレーアームが食器 ピースによって妨げられており、 洗浄剤をよくすげない。	▶ スプレーアームは、動きが妨げられず、回転が妨げられていないことを確認してください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
洗浄剤が、洗浄剤室またはタブレットトレイの中に残っている。	洗浄剤を充填する際、洗浄剤室が湿っている。	▶ 洗浄剤は必ず乾燥した状態の洗浄剤室に充填してください。
異常な泡の発生がある。	リンスストック容器に手洗い用洗剤が入っている。	▶ ただちにリンスストック容器にリンス剤を充填してください。 → "リンス剤を充填する", ページ129
	リンス剤がこぼれた。	▶ リンス剤を布で除去してください。
	使用中の洗浄剤または装置のお手入れ剤によって生成される泡が多すぎる。	▶ 洗浄剤のブランドを変更してください。

Home Connectの問題

エラー	原因	故障かなと思ったら
ホームネットワークが構築されていない。	ルーターのWLANが有効になっていない。	▶ お使いのルーターのワイヤレスネットワーク接続を点検してください。
WLANインジケータが点滅している。	ホームネットワークへの接続を使用できない。	▶ お使いのルーターのワイヤレスネットワーク接続を有効にしてください。
Home Connectを正しく実行することができない。	Home Connectが間違っ て設定されている。	▶ Home Connectの添付資料をご覧ください。
	技術的故障がある。	▶ Home Connectの添付資料とサポート表示をご覧ください。

ディスプレイ部の注意事項

エラー	原因	故障かなと思ったら
特殊塩用補充表示が点灯する。	特殊塩の不足。	▶ "特殊塩" → ページ128を充填してください。
	センサーが特殊塩タブレットを検出しない。	▶ 特殊塩タブレットを使用しないでください。
特殊塩用補充表示が点灯しない。	軟水化装置のスイッチがオフになっている。	▶ 軟水化装置を設定する

エラー	原因	故障かなと思ったら
リンス剤用補充表示が点灯する。	リンス剤がない。	1. "リンス剤" → ページ129を補充してください。 2. リンス剤使用量を設定してください。 → "リンス剤使用量を設定する", ページ130
リンス剤用補充表示が点灯しない。	リンス剤システムのスイッチがオフになっている。	▶ リンス剤使用量を設定する。

機能障害

エラー	原因	故障かなと思ったら
プログラム終了後、水が本装置内に残っている。	フィルターシステムまたはフィルターよりも下流の領域が詰まっている。 プログラムがまだ終了していない。	1. "フィルター" → ページ144を洗浄してください。 2. "排水ポンプ" → ページ163を洗浄してください。 ▶ プログラム終了を待つか、またはプログラムをリセットで中断してください。 ▶ → "プログラムを中断する", ページ137
装置のスイッチがオンにならない、または作動しない。	ソフトウェアアップデートを実行します。 本装置の機能が停止している。	▶ ソフトウェアアップデートが完了するまで待ってください。 1. 電源プラグを引き抜くか、またはブレーカーを切ってください。 2. 少なくとも2分間待ってください。 3. 本装置を電源に接続してください。 4. 本装置のスイッチをオンにしてください。
装置が作動しない。	館内のブレーカーが正常でない。 電源ケーブルが差し込まれていない。	▶ 館内のブレーカーを点検してください。 1. ソケットが機能しているか点検してください。 2. 電源ケーブルがソケットおよび装置裏側に完全に差し込まれているか点検してください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
装置が作動しない。	装置のドアが完全に閉じていない。	▶ 本装置のドアを閉じてください。
プログラムが自動的にスタートしてしまう。	プログラム終了を待たなかった。	▶ → "プログラムを中断する", ページ137
プログラム中、装置が立ち往生または停止してしまう。	装置のドアが完全に閉じていない。	▶ 本装置のドアを閉じてください。
	電力および水の両方または片方の供給が遮断されている。	1. 電力の供給を点検してください。 2. 水の供給を点検してください。
	上段バスケットが内部ドアに当たっていて、本装置のドアがしっかりと閉まるのを妨げている。	▶ ソケット、または取り付けられたままのホースホルダーが本装置の背面パネルに当たっているか点検します。 ▶ 食器が食器バスケット上に突き出て、本装置のドアの安全なロックを妨げないように、食器を収納してください。

エラー	原因	故障かなと思ったら
すべてのLEDが点灯または点滅します。	電子機器がエラーを検出しました。	1. メインスイッチボタンを約4秒間押します。 → "操作部", ページ17 装置がリセットされ、再起動されます。 2. 不具合が再発する場合： - 本装置のスイッチをオフにしてください。 - 電源プラグを引き抜くか、配電盤内のブレーカーをオフにしてください。 - 少なくとも2分間待ってください。 - 配電盤内のブレーカーをオンにするか、電源プラグを差し込んでください。 - 本装置のスイッチをオンにしてください。 3. 不具合が再発する場合： - カスタマーサービスまでお問い合わせください。 → "カスタマーサービス", ページ64

機械的損傷

エラー	原因	故障かなと思ったら
装置のドアが閉じない。	ドアロックが急に作動した。 取り付け状態のせいでドアの閉鎖が妨げられている。	▶ 本装置のドアを力を入れて閉じてください。 ▶ 本装置が正しく取り付けられているか点検してください。 本装置のドア、ドアトリム、取り付け部品は、閉じる際に、隣接するキャビネットや作業プレートに衝突してはなりません。
洗浄剤室の蓋が閉じない。	洗浄剤室または蓋が、付着した洗浄剤の残りにより妨げられている。	▶ 洗浄剤の残りを除去してください。

ノイズ

エラー	原因	故障かなと思ったら
充填バルブの衝撃音が聞こえる。	館内据付けによって異なる。装置の故障はない。装置の機能に影響しない。	▶ 対策は屋内設置の場合のみ可能です。
衝撃音または衝突音が聞こえる。	スプレーアームが食器に衝突している。	▶ 食器は、スプレーアームが食器に衝突しないように収納してください。
	洗う食器が少ないときに、水の噴射が洗浄容器に直接当たる。	▶ 食器を均などに配分してください。 ▶ 本装置へ積載する食器の量を増やしてください。
	軽い食器ピースが洗浄中に動く。	▶ 軽い食器が動かないように収納してください。

排水ポンプを洗浄する

食べ物の大きな残りまたは異物は、排水ポンプを塞ぐことがあります。すすぎ水が適正に流出しなくなったら、ただちに排水ポンプを洗浄する必要があります。

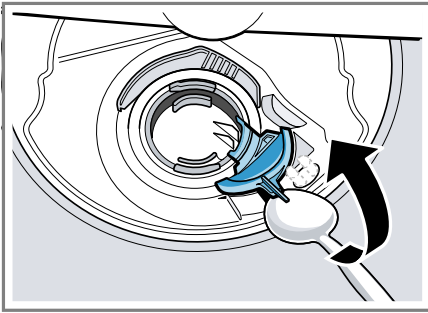
⚠ 警告

負傷の危険!

鋭く尖った物体またはガラスの破片が、排水ポンプを妨げ、負傷の原因となることがあります。

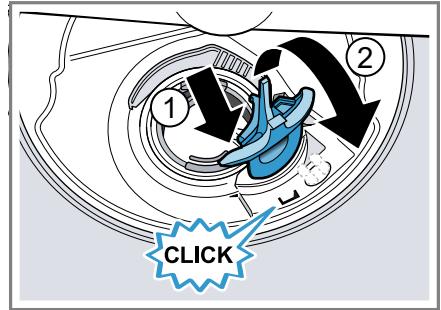
▶ 異物を慎重に除去します。

1. 本装置を電源から切り離します。
2. 上段および下段食器バスケットを取り外します。
3. フィルターシステムを取り外します。
4. 残っている水を汲み出します。
必要に応じて、スポンジを使用します。
5. ポンプのカバーをスプーンを使って持ち上げ、縁をつかみます。



6. ポンプのカバーを斜めに内側へ持ち上げ、取り外します。
- ✓ こうして羽根車に手が届くようになります。
7. ウイングホイール部分の食べ物の残りや異物を除去します。

8. ポンプカバーを取り付け ①、下方へ押します ②。



- ✓ ポンプカバーはカチッと音を立ててはまります。
9. フィルターシステムを取り付けます。
 10. 上段および下段食器バスケットを設置します。

輸送、保管、廃棄処分

装置を取り外す

1. 本装置を電源から切り離します。
2. 給水栓を閉めます。
3. 排水接続部を外します。
4. 飲料水接続部を外します。
5. 家具パーツへの固定ねじがあれば、それを外します。
6. 基礎板があれば、それを取り外します。
7. 本装置を慎重に引き出し、ホースを慎重に引き抜きます。

装置を凍らないようにする

本装置を凍結のおそれのある空間（例えば、休暇用別荘）に置く場合、本装置は必ず完全に空にしてください。

- ▶ 本装置を空にします。
→ "装置を輸送する", ページ 64

装置を輸送する

装置の損傷を防止するため、輸送前に本装置を空にしてください。

注記：中に残っている水が装置の制御部に達して、装置の損傷を引き起こさないように、装置は必ず立てた状態で輸送します。

1. 本装置から食器を取り出します。
2. ばらの部品を固定します。
3. "本装置のスイッチをオンにします。" → ページ 35
4. 温度が最も高いプログラムを選択します。
→ "プログラム", ページ 20
5. "プログラムをスタートします。"
→ ページ 36
6. 本装置を空にするために、プログラムを約4分後に中断します。
→ "プログラムを中断する", ページ 37
7. "本装置のスイッチをオフにします。" → ページ 37
8. 給水栓を閉めます。
9. 残っている水を装置から抜くために、給水ホースを外して、水を流出させます。

中古製品の廃棄処分

環境に配慮した廃棄処分によって貴重な原料が再利用できるようになります。

警告

健康に対する損傷の危険!

子どもが装置内に閉じ込められて生命に危機にさらされるおそれがあります。

▶ 使用済み装置では、電源コードのプラグを抜いてから電源コードを分断し、装置のドアの錠前を破壊して、装置のドアが閉じられなくなるようにしてください。

1. 電源コードのプラグを抜いてください。

2. 電源コードを分断してください。
3. 本機器は環境に配慮した方法で廃棄処分してください。

最新の廃棄方法に関する情報は、本装置をお求めになった専門店または市町村行政でお求めください。



この装置は、電子・電気中古装置に関する欧州指令 2012/19/EU(waste electrical and electronic equipment - WEEE)に適合するものと認証されています。
指令は、欧州全体で有効な中古装置の引き取りと活用の枠組みを定めています。

カスタマーサービス

お客様の国における保証期間および保証条件についての詳細は、当社カスタマーサービス、お客様担当のディーラー、当社ウェブサイトで入手することができます。

カスタマーサービスにご連絡の際は、お使いの装置の製品番号(E-Nr.)、シリアル番号(FD)コード番号(Z-Nr.)が必要となります。

カスタマーサービスの連絡先データについては、付属のカスタマーサービスディレクトリまたは当社ウェブサイトをご覧ください。

製造番号(E-Nr.)、シリアル番号(FD)、コード番号(Z-Nr.)

製造番号(E-Nr.)、シリアル番号(FD)、コード番号(Z-Nr.)は装置の銘板にあります。

銘板はデバイスドアの内側にあります。

装置データとカスタマーサービスの電話番号をすばやく見つけ出すために、データをメモしてください。

AQUA-STOP保証

売買契約に基づく販売者に対する保証請求に加え、また当社が提供する製造者保証に加え、当社は以下の条件で損害補償を提供します。

- 当社のAqua-Stopシステムの故障が原因で水による損害が発生した場合、当社は個人ユーザーの損害を補償します。水に対する安全を確保するために、装置は電源に接続されていなければなりません。
- この損害に対する保証は、装置の耐用期間全体に対して有効です。
- 保証請求の前提条件はAqua-Stopを装備する装置が当社説明書に応じて適切に設置、接続され、適切に取り付けたAqua-Stopエクステンション(純正付属品)を包含していることです。当社が提供する保証は、給水栓につながるAqua-Stop連結部までの配管または水栓の欠陥には適用されません。
- Aqua-Stopを搭載した装置は、原則として運転中の監視、またはその後の給水栓閉鎖による安全確保を必要としません。給水栓を閉じる必要があるのは、例えば数週間に及ぶ休暇旅行の場合など、長くお住まいを留守にする場合に限定されます。

技術仕様

重量	最大：45 kg
電圧	200 V、50 Hzまたは60 Hz
接続値	1700 W
ヒューズによる保護	15 A
水圧	■ 最低 50 kPa (0.5 bar) ■ 最大 1000 kPa (10 bar)

供給量	最低 10 l/min
水温	冷水。 温水、最高： 60 °C
収納量	10の標準プレイス 設定

フリーおよびオープンソースソフトウェアに関する情報

本製品は、著作権者によってフリーソフトウェアまたはオープンソースソフトウェアとしてライセンス供与されたソフトウェアコンポーネントを含みます。

相応するライセンス情報は、家電機器に保存されています。相応するライセンス情報へのアクセスは、Home Connectアプリによっても可能です：「プロフィール -> 法的注意事項 -> ライセンス情報」¹ ライセンス情報はブランド製品のウェブサイトからダウンロードすることができます。(ご使用の機器モデルと詳細なドキュメントを製品ウェブサイト上で検索してください。) あるいは関連する情報を ossrequest@bshg.com または BSH Hausgeräte GmbH, Carl-Wery-Str. 34, D-81739 München へご請求ください。

ご請求に応じて、ソースコードを提供いたします。

ご請求は ossrequest@bshg.com または BSH Hausgeräte GmbH, Carl-Wery-Str. 34, D-81739 へお送りください。

件名: „OSSREQUEST“

ご請求についての処理費用は請求書に記載いたします。本見積もりは、購入日から3年間、または少なくとも、該当する機器のサポートおよびスペアパーツを提供する期間中は有効です。

¹ 装置の仕様により異なる

適合宣言

BSH Hausgeräte GmbHは、Home Connect 機能を持つ本装置が、その基礎となる要求およびその他の2014/53/EU指令の関連規定に準拠していることを宣言します。

RED の詳細な適合宣言書については、ホームページ www.bosch-home.com からお使いの装置の製品ページの追加ドキュメントを参照してください。



2.4-GHz帯 (2400–2483.5 MHz): 最大 100 mW
5-GHz帯 (5150–5350 MHz + 5470–5725 MHz): 最大100 mW

	BE	BG	CZ	DK	DE	EE	IE	EL	ES
	FR	HR	IT	CY	LI	LV	LT	LU	HU
	MT	NL	AT	PL	PT	RO	SI	SK	FI
	SE	NO	CH	TR	IS	UK (NI)			
5 GHz WLAN (Wi-Fi): 室内での使用専用。									
AL	BA	MD	ME	MK	RS	UK	UA		
5 GHz WLAN (Wi-Fi): 室内での使用専用。									



A series of horizontal lines for writing, consisting of 20 lines in total. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page.



Thank you for buying a Bosch Home Appliance!

Register your new device on MyBosch now and profit directly from:

- **Expert tips & tricks for your appliance**
- **Warranty extension options**
- **Discounts for accessories & spare-parts**
- **Digital manual and all appliance data at hand**
- **Easy access to Bosch Home Appliances Service**

Free and easy registration – also on mobile phones:

www.bosch-home.com/welcome



Looking for help? You'll find it here.

Expert advice for your Bosch home appliances, help with problems or a repair from Bosch experts.

Find out everything about the many ways Bosch can support you:

www.bosch-home.com/service

Contact data of all countries are listed in the attached service directory.

BSH Hausgeräte GmbH

Carl-Wery-Straße 34

81739 München, GERMANY

www.bosch-home.com

A Bosch Company



9001575890 (020419) 442 A1

ja